

SHARP®

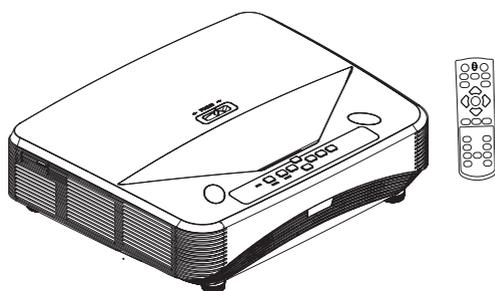
マルチメディアプロジェクター

形名

PG-LU400Z

PG-LU300Z

取扱説明書



HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

PJLink®

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全にお使いいただくために」（4ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保管してください。

はじめに

基本的な使いかた

設置する

接続する

使ってみる

便利な機能

付録

はじめに

安全にお使いいただくために	4
レーザーに関する警告・注意	6
使用上のご注意	7
この取扱説明書の見かた	9
付属品について	10
各部のなまえとはたらき	11
本体	11
本体背面	12
リモコン	13
乾電池の入れかた	14
リモコンの使用範囲	14

基本的な使いかた

基本的な使いかた	15
----------	----

設置する

本機を設置する	17
本機の設置のしかた	17
基本的な設置	17
天井取り付けのしかた	18
投射方式	18
画面サイズと投射距離	19

接続する

外部機器と接続する	20
プロジェクターをコンピュータで制御する	23
電源コードを接続する	25

使ってみる

電源の入れかた / 切りかた	26
電源を入れるとき	26
電源を切る（待機状態にする）とき	26
投射のしかた	27
投射画像を調整する	27
画面の台形歪みを補正する	28
入力を切り換える	31
本体の音量を調整する	31
投射した映像と音声を一時的に消す	31
入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ	32

便利な機能

リモコンで投射画像を操作する	33
消費電力を低減する（「エコ+静音」モード）	33
コンピュータから入力された画面を自動同期調整する（自動同期調整機能）	33
投射中の画像を静止画にする	33

投射する画像に合わせた映像モードを選ぶ	33
画像を拡大表示する	34
メニュー内容一覧	35
メニュー操作のしかた	38
「表示」メニュー	39
1. 壁色補正をする（壁色補正）	39
2. 入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ（画面サイズ）	39
3. 台形補正をする（H&V 台形補正）	39
4. 台形補正をする（4点補正）	39
5. コンピュータ画像を調整する（位置 / 水平位相 / クロック）	40
6. 画像を拡大表示する（拡大）	40
「ピクチャ」メニュー	41
1. 映像モードを選ぶ（映像モード）	41
2. お好みの映像に調整する（明るさ / コントラスト / 色あい / 色の濃さ / シャープネス）	41
3. 色味を変える（色温度）	42
4. オーバースキャンの調整をする（オーバースキャン）	42
5. 入力信号タイプを設定する（HDMI 設定）	42
6. ダイナミックレンジを調整する（HDMI 設定）	43
7. 映像を補正する（ガンマ）	43
8. BrilliantColor™ を調整する（BrilliantColor™）	43
9. ノイズを軽減する（ノイズリダクション）	43
10. 色を調整する（C. M. S.）	44
「ソース」メニュー	45
1. 入力信号を自動的に検出する（クイック自動検出）	45
2. 3D を視聴する（3D）	45
「システム設定：基本」メニュー	46
1. 画面に表示する言語を選択する（言語選択）	46
2. 投射環境に合わせた投射方式を選択する（投射方式）	46
3. メニュー画面の表示時間を設定する（メニュー設定）	46
4. メニュー画面の表示位置を設定する（メニュー設定）	46
5. 無信号時やオープニング時に投射する画面を設定する（バックグラウンド）	47
6. FUNCTION ボタンを設定する（FUNCTION ボタン）	47
7. テストパターン表示を設定する（テストパターン）	47
8. アラームメッセージ表示を設定する（アラームメッセージ）	47
「システム設定：詳細」メニュー	48
1. 高地対応モードを設定する（高地対応モード）	48
2. 音声機能を設定する（オーディオ設定）	48
3. クロースキャプションを設定する（クロースキャプション）	49
4. 光源設定を選択する（光源設定）	49
5. 無信号電源オフモードを設定する（無信号電源オフ）	49
6. クイッククーリング機能（クイッククーリング）	50
7. 待機状態モードを設定する（スタンバイ設定）	50
8. DHCP クライアント機能を設定する（ネットワーク設定）	50
9. TCP/IP を設定する（ネットワーク設定）	51
10. セキュリティを設定する（セキュリティ設定）	51
11. 本体の操作ボタンをロックする（キーロック）	52
12. 設定値を工場出荷状態に戻す（設定値初期化）	53

本機の情報を確認する	54	本機を LAN 経由で制御する	68
3D 映像を視聴する	55	Internet Explorer (バージョン 11 以降) で コントロールする	68
3D 映像を視聴中のご注意	55	ネットワークの設定をする	69
3D 投映機能について	56	エラー発生時にメールを送信するための 設定をする	70
付録	56	Crestron RoomView® をつかって プロジェクターを制御する	71
3D 映像を楽しむ	57	ウェブブラウザを使った制御	71
3D 映像を視聴する	57	付録	
3D 設定をする (3D メニュー)	58	お手入れのしかた	74
3D モード	58	お知らせ表示について	75
3D 同期反転	58	入力信号 (推奨信号) について	77
本体端子のピン配置	59	故障かな?と思ったら	79
RS-232C 仕様とコマンドの設定	61	お客様ご相談窓口のご案内	83
コンピュータによるプロジェクターの制御	61	アフターサービスについて	84
通信条件	61	仕様	85
基本形式	61	寸法図	86
コンピュータによるプロジェクターの制御	62	索引	87
PJLink プロトコルを使った プロジェクターの操作	63		
本機のネットワーク設定をする	64		
コンピュータを使って本機の ネットワーク設定をする	64		
設定 1. 本機とコンピュータを接続する	65		
設定 2. コンピュータの IP アドレスを設定する	66		
設定 3. 本機のネットワーク設定をする	67		

付属の電源コードは当該製品専用です。他の機器に使用しないでください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

電波障害に関するご注意

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- ※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
- ※ クラス A 情報技術装置の技術基準に適合させるために、この製品の下記の端子に接続するケーブルは、シールドされたものを使用してください。
HDMI 入力端子、D-sub 入出力端子、S-ビデオ入力端子、ビデオ (RCA) 入力端子、RS-232C 入力端子、音声入出力端子

お願い

- ※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- ※ お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ 本機の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。
- ※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を「警告」「注意」に区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号の意味 (図記号の一例です。)



記号は、**気をつける**必要があることを表しています。



記号は、**してはいけない**ことを表しています。



記号は、**しなければならない**ことを表しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



電源コードを傷つけない。引っ張らない。無理に曲げない。本機や重いものの下敷きしない。加熱しない。加工しない。また、熱器具に近づけない。電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。



電源は、正しい電源電圧のコンセントを使用する。付属の電源コードは AC100V 用です。指定以外の電源を使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り始めたら、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。



発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が起きたら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



機器を落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



機器の開閉口（通風孔など）から、金属類や燃えやすいものなど、異物を機器の中に入れない。火災や感電の原因となります。



天井に取り付けるときは、機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店または専門の工事業者にご依頼ください。



ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所で使用しない。腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境で使用しない。火災の原因となります。



本機のキャビネットを外さない。改造しない。

内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。内部の点検、修理はお買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電の原因となります。



本機に水がかかるような場所に設置しない。ぬらさない。

火災や感電の原因となります。本機の上や近くに花びんなど、水の入った容器を置かないでください。風呂やシャワー室では使用しないでください。エアコン等水を排出する機器にも注意してください。



アースを接続する。

アースが接続されないと万一、漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。



航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器などの高度な信頼性を必要とする設備への組み込みや制御などを目的とした使用はできません。



電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない。



可燃性スプレーを本機および周辺で使用しない。引火による火災やけどの原因となります。



投映窓をのぞかない。

投映中に投映窓をのぞかないでください。眼を傷める原因となります。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

-  **電源コードは、必ず付属または指定のものを使用する。**
付属や指定以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。
-  **本機近くのコンセントを使用する。**
電源プラグの抜き差ししやすい場所のコンセントを使用する。
-  **電源コードは、タコ足配線しない。**
タコ足配線をする、過熱により火災の原因となることがあります。
-  **電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。**
差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。
-  **火災や感電を防ぐために、次のことを守る。**
 - 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
 - お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
-  **直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しない。**
発熱や発火の原因となることがあります。
-  **ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かない。強い衝撃や振動を与えない。**
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
-  **投映窓を塞がない。**
発熱や発火・故障の原因となることがあります。
-  **上にものを置いたり、上に乗ったりしない。**
倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。
-  **風通しの悪いところに置いたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしない。**
通風を妨げると内部に熱がこもり、故障や発熱、発火の原因となることがあります。
-  **硬いものでこすったり、たたいたりしない。**
破損してけがの原因となることがあります。
-  **移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、接続されているケーブルを外す。**
コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。
-  **通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除く。**
通風孔や内部にほこりがたまると、発熱や発火・故障の原因となることがあります。
1年に一度は本機内部に入ったほこりの清掃をお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼してください。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用については、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
-  **乾電池の使用にあたっては、次のことを守る。**
使いかたを誤ると、破裂や発火の原因となることがあります。また、液漏れによる機器の腐食、手や衣類を汚す原因となります。
 - 指定以外の電池を使用しないでください。
 - プラス (+) とマイナス (-) の向きは、表示に従って正しく入れてください。
 - 新しいものと、一度使ったものを混ぜて使わないでください。
 - 種類の違うものを混ぜて使わないでください。同じ形でも電圧の異なるものがあります。
 - 消耗したときは、速やかに交換してください。
 - 長時間使わないときは、電池を取り出してください。
 - 廃棄するときは、プラス (+) とマイナス (-) をゼロハンテープで絶縁して廃棄します。各自自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。
 - 火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしないでください。
-  **乾電池から液が漏れて皮膚や衣服に付いたときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流す。また、漏れた液が目に入ったときは、こすらずすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受ける。**
皮膚がかぶれたり、目に障害を与える原因となることがあります。
-  **本機の温度が高くなる部分に長時間触れない。**
低温やけどの原因となることがあります。
-  **高温部には触れない。**
投映中は、排気孔、投映窓やその周辺が高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。

レーザーに関する警告・注意

警告

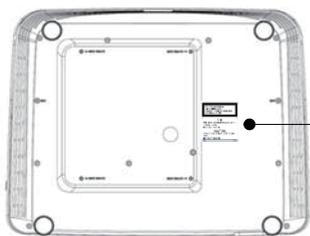
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、眼および皮膚などがレーザー照射により損傷を受ける危険性を示しています。

- 本機にはレーザーモジュールが内蔵されています。本書に記載されている以外の手順で操作や調整を行うと、危険なレーザー放射の被ばくを引き起こす可能性があります。
- プロジェクターの電源が入っているときに、光学器具（虫めがね、ミラーなど）を使用して投射窓から出る光を覗いたり、じっと見つめたりしないでください。明るい光は、永久的な眼の損傷を引き起こす可能性があります。子供には投射窓から直接出る光をのぞかせないように、ご注意ください。
- プロジェクターを開けたり分解したりしないでください。レーザー照射により眼および皮膚などが損傷を受ける原因となります。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

- ラベルの位置情報



本機は IEC 60825-1:2014 及び JIS C 6802:2014 に適合したクラス 1 レーザー製品です。
本機は IEC 62471-5:2015 に従ってリスクグループ 2 に分類されます。

使用上のご注意

設置するときは次の点にご注意ください

設置に関する注意

- 修理をなるべく少なく高画質を維持するために、プロジェクターを湿気やホコリ、タバコの煙などの少ない場所に設置してください。そのような場所に置く場合は、排気孔や吸気孔、投映窓を頻繁に清掃しなくてはなりません。内部のお手入れに関しまして年に1度、お近くの販売店もしくはシャープお客様相談窓口までお問い合わせください。内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

目をときどき休めてください

- 連続して長い時間画面を見ていると目が疲れますので、ときどき目を休めてください。

直射日光や、照明の光はさけてください

- スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

本機を設置するときは

- プロジェクターをお買いあげ後、最初に電源を入れたとき、排気孔からわずかに匂いがする場合がありますが、故障や異常ではありません。ご使用にとまないうなくなります。

山岳など高地(標高約1500m)以上でご利用になるとき

- 空気の希薄な高地などでご利用になるときは、高地対応モードを「入」に設定してください。そのまま使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。
- 標高2000m以内の場所でお使いください。

高い位置に設置するときの注意

- 高い位置に設置する場合、落下によるケガが起こらないかどうか十分に注意してください。

衝撃を与えないでください

- 投映窓には、特にご注意ください。表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。

高温、低温の場所はさけてください

- 使用温度範囲 0℃～35℃
- 保存温度範囲 -10℃～+60℃

結露(つゆつき)について

- 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります。(結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください。)

排気孔や吸気孔をふさがないように

- 排気孔側に壁やモノがある場合は、30cm以上スキ間をあけて設置してください。
- 排気孔や吸気孔をふさがないように設置してください。
- 冷却ファンがふさがれると、内部温度上昇のため保護回路が働き自動的に待機状態になる場合があります。(75、76ページ)このようなときはプロジェクターの電源コードをコンセントから抜き、10分以上そのままにしてください。その後排気孔や吸気孔をふさがない場所に設置してもう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。

取り扱い時のご注意

- 長時間使用しない、または収納する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上行ってください。
- 直射日光の当たる場所や、熱器具などの近くに放置しないでください。キャビネットの変形・変色の原因になります。

接続機器について

- プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。
- 接続のしかたについては、プロジェクターと接続する機器の取扱説明書をお読みください。

海外でのご使用について

- 本機は日本国内仕様となります。海外ではご使用することができません。

温度モニター機能について

- 設置状況や排気孔、吸気孔の目づまり等により内部温度が高温になると、冷却ファンの回る速度が速くなります。この状態が続くと光源が消え、本機は待機状態になります。詳しくは75、76ページの「お知らせ表示について」をご覧ください。

お知らせ

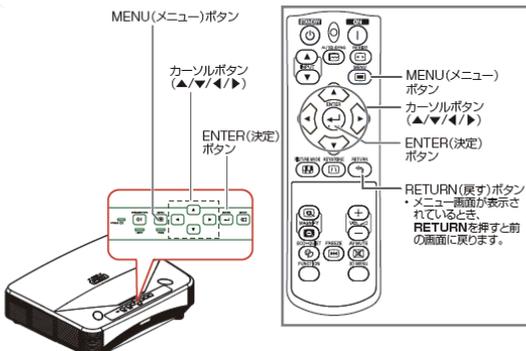
- 冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているためで、故障ではありません。

- DLP®、DLPロゴは、テキサス・インスツルメンツ社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。
- PC/ATは米国IBM社の登録商標です。
- Adobe® Reader®はAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の登録商標または商標です。
- Macintosh®はアップルコンピュータ・インクの米国および、その他の国における登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMI ロゴ は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- PJLink商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- その他の製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- 本製品のICチップの中には、米国テキサス・インスツルメンツ社の営業秘密が含まれているICチップがありますので、その内容をコピー、改変、適応、翻訳、配布、リバースエンジニアリング、リバースアセンブリもしくはディスアセンブリをすることは禁じられております。
- Crestron RoomView®はクレストロン社の登録商標です。

この取扱説明書の見かた

- モデルによって仕様が多少異なる場合がありますが全てのモデルが同じ方法で接続したり操作することができます。

メニュー操作のしかた



使用するボタンです

メニュー選択

操作するボタンです

表示される画面です

例: COMPUTER入力
「表示」メニュー画面

- 1 MENUを押してOSDメニューを表示します。
- 2 ◀または▶を押し、メインメニューの項目を選択します。
- 3 ▼を押し、サブメニュー画面にします。
- 4 ▲または▼を押し、項目を選択します。
- 5 ◀または▶を押し、必要な項目を選択したり設定を調整します。



38

 **お知らせ**特に気をつけていただきたい内容について説明しています。

 **メモ**操作や設定時の制限事項や注意する内容について説明しています。

こんなときは

お手入れをするときは

➡ 74 ページ

故障かな?と思ったら

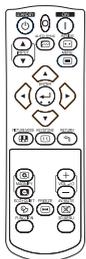
➡ 79 ~ 82 ページ

索引

➡ 87 ページ

付属品について

付属品



リモコン



単 4 形乾電池 (2 本)



RGB ケーブル
(1.8m)



電源コード
(1.8m)
(この電源コードは当該製品専用です。)



HDMI ケーブル
(1.8m)



天吊り補助ワイヤー

- CD-ROM (取扱説明書)
- セットアップ説明書
- 保証書

各部のなまえとはたらき

■の中の数字は参照ページを示します。

本体

天面操作部

MENU(メニュー)ボタン
各種設定・調整用の画面を表示します。

STANDBY/ON(スタンバイ/電源入)ボタン
電源を入れたり、待機状態にします。

電源表示

光源表示

カーソルボタン
(▲/▼/◀/▶)
メニュー設定に使用します。

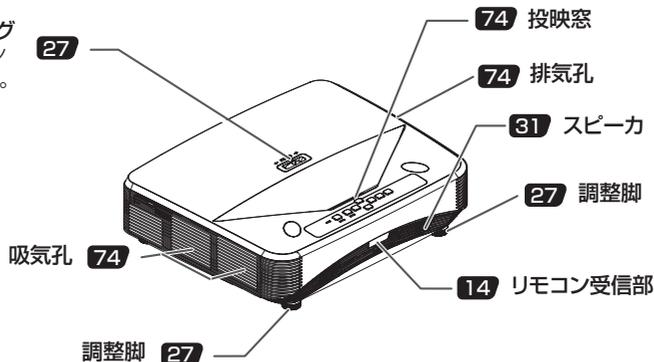
ENTER(決定)ボタン
メニューで選択調整した項目を決定します。

INPUT(入力切換)ボタン
入力モードを切り換えます。

温度モニター表示

前面

フォーカスリング
投映画像のピントを合わせます。



■の中の数字は参照ページを示します。

本体背面

背面端子

S-VIDEO(S-ビデオ)入力端子 21

映像機器とS-VIDEO(S-ビデオ)端子を接続します。

VIDEO(ビデオ)入力端子 21

映像機器を接続します。

AUDIO(音声)入力端子 22

COMPUTER入力用の音声機器を接続します。

DC5V出力端子 22

USBに電源を供給します。

AUDIO OUT(音声出力)端子 22

現在の入力モードの音声を外音部スピーカに出力します。

20, 21

COMPUTER/COMPONENT入力端子

コンピュータRGBおよびコンポーネント信号用端子

60

RS-232C端子

コンピュータを使用して本体を制御します。

20, 21, 22

HDMI端子

HDMI1、HDMI2
入力用端子

24

LAN端子

コンピュータを使ってネットワーク経由でプロジェクターを制御します。

SERVICE端子

サービスマン用端子

22

MONITOR OUT(モニター出力)端子

(コンピュータRGBおよびコンポーネント信号用出力端子)
モニターに接続します。

ケンジントンセキュリティスロット

AC電源ソケット 25

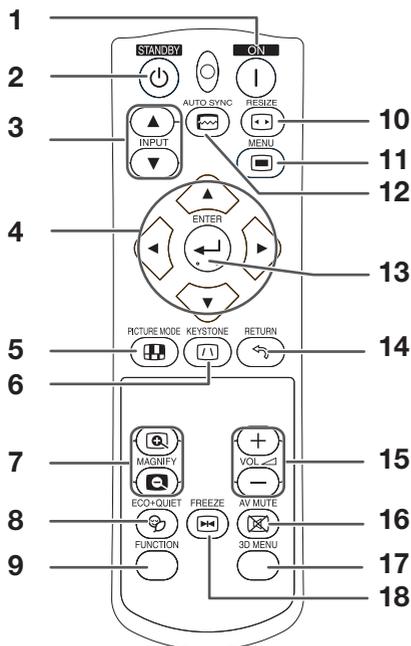
付属の電源コードを接続します。

ケンジントンセキュリティスロットについて

- このケンジントンセキュリティスロットは、Kensington社製セキュリティケーブルに対応しております。接続のしかたはケーブルに付属の取扱説明書をご覧ください。

■の中の数字は参照ページを示します。

リモコン



1 **ON(電源入)ボタン 26**
電源を入れます。

2 **STANDBY(スタンバイ)ボタン 26**
電源を待機状態にします。

3 **INPUT(入力切替)ボタン(▲/▼) 31**
入力モードを切り換えます。

4 **カーソルボタン(▲/▼/◀/▶) 38**
メニュー設定・調整に使用します。

5 **PICTURE MODE(映像モード)ボタン 33**
ゲームなどの投映画像に合わせて最適な映像を選びます。

6 **KEYSTONE(台形補正)ボタン 28**
投映角度により生じる台形歪みを補正するための画面にします。

7 **MAGNIFY((拡大)/(縮小))ボタン 33**
投映画像を拡大/縮小します。

8 **ECO+QUIET(エコ+静音)ボタン 33**
ファン音が小さくなり、消費電力が低減します。

9 **FUNCTION(機能)ボタン 47**
「FUNCTION(機能)ボタン」に割り当てられた機能を実行します。

10 **RESIZE(画面サイズ切替)ボタン 32**
映像に合わせて画面サイズを切り換えます。

11 **MENU(メニュー)ボタン 38**
各種設定・調整用の画面を表示します。

12 **AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン 33**
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

13 **ENTER(決定)ボタン 38**
メニューで選択調整した項目を決定します。

14 **RETURN(戻す)ボタン 38**
メニュー画面操作時、前画面に戻します。

15 **VOL +/- (音量)ボタン 31**
スピーカからの音量を調整します。

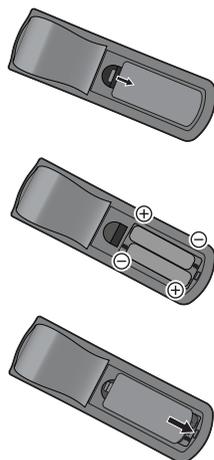
16 **AV MUTE(AVミュート)ボタン 31**
プロジェクターからの映像と音声を一時的に消します。

17 **3D MENU(3Dメニュー)ボタン 57**
3Dメニュー画面を表示します。

18 **FREEZE(静止画)ボタン 33**
映像を静止画の状態にします。

乾電池の入れかた

- 1 裏ぶたのツメを押して、矢印の方向に開ける
- 2 付属の乾電池を入れる
・ プラス+とマイナス-を、表示のとおり正しく入れてください。
- 3 裏ぶた下部の突起を矢印の方向からリモコンの穴に差し込み、閉める



乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。



注意

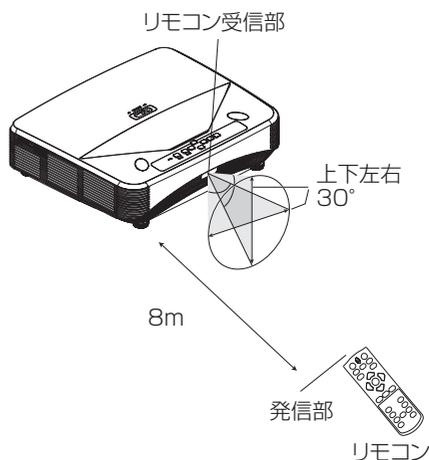
- ・ 乾電池が正しく交換されないと破裂する危険があります。アルカリ電池に交換してください。
 - ・ プラス+とマイナス-を、表示のとおり正しく入れてください。
 - ・ 新しい乾電池と一度使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・ 新しい乾電池の寿命が短くなったり、一度使った乾電池の液漏れにつながる場合があります。
 - ・ 長時間使用しないときや乾電池を使い切ったときは、液がもれて故障の原因となる恐れもありますので、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。
- また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- ・ 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
 - ・ 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。
 - ・ 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自自治体の指示(条例)に従って処理してください。

リモコンの使用範囲

リモコンの使用範囲は図のとおりです。

リモコン使用上のご注意

- ・ 衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。
- ・ 蛍光灯の下では、リモコンの働きが悪くなる場合があります。そのようなときは、本体を蛍光灯から離してご使用ください。

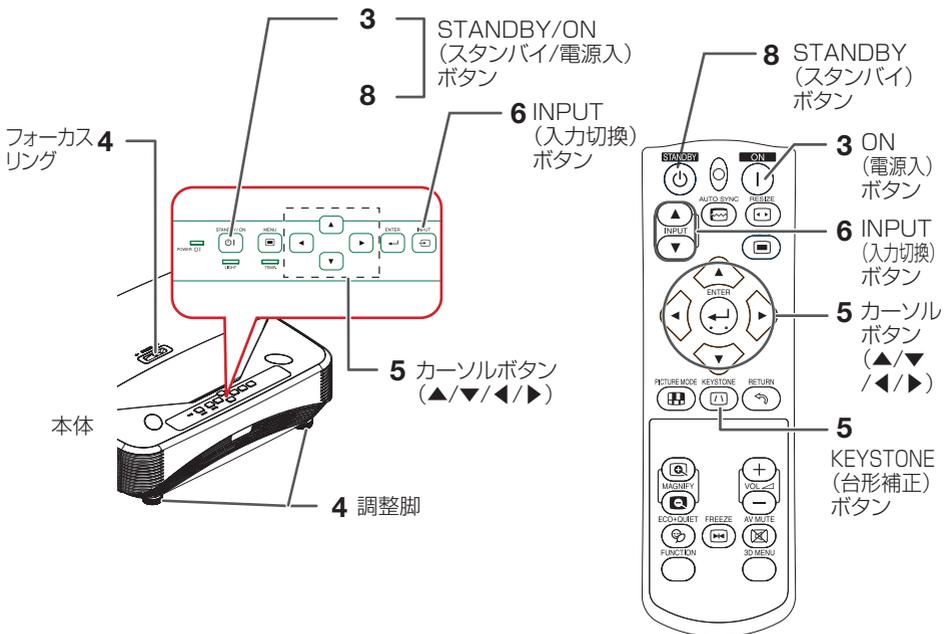


基本的な使いかた

このページでは、本機の基本的な使いかた(コンピュータを接続して投映)を説明しています。詳しくは各項目に記載されているページをご覧ください。

設置から投映まで

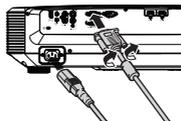
ここでは、本機とコンピュータの接続を例に説明します。



1. 本体を映したいスクリーンに向けて置く

➡ P.17

2. 電源コードおよびコンピュータを接続する



ほかの機器を接続する場合は、21、22ページをご覧ください。

➡ P.20、25

3. 電源を入れる



➡ P.26

4. 投映された画像を調整する

- 1 フォーカスリングを回して、フォーカス(ピント)を合わせます。
- 2 高さを調整します。

▶ P.27

5. 台形歪みを調整する

台形補正で台形の歪みを補正します。
リモコンの**KEYSTONE**(台形補正)を押します。
「H&V台形補正」を選択した場合、

- 1 ▲/▼を押し、投映された画像の左右の辺を平行にする
 - 2 ◀/▶を押し、投映された画像の上下の辺を平行にする
- 「4点補正」を選択した場合、

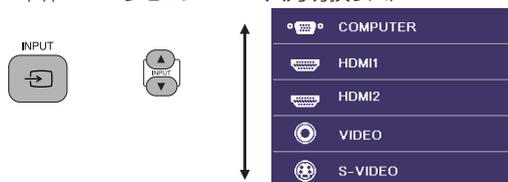
- 1 ▲/▼/◀/▶で4隅の内の1つを選択し、**ENTER**を押す
- 2 ▲/▼を押し、垂直位置を調整する
- 3 ◀/▶を押し、水平位置を調整する
- 4 **MENU**を押し、その他の4隅を選択する
- 5 その他の4隅についても同じ手順を繰り返す

▶ P.28、29、30

6. 入力モードを選ぶ

INPUT(入力切換)▲/▼を押し、入力切換リストを表示する。**INPUT(入力切換)**▲/▼を使って、入力切換リストを選択し、**ENTER**を押す

本体 リモコン 入力切換リスト



▶ P.31

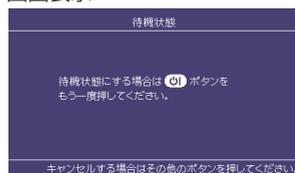
7.PC の電源を入れる

8. 電源を切るときは

本体の**STANDBY/ON(スタンバイ/電源入)**、または、リモコンの**STANDBY(スタンバイ)**を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す



画面表示



▶ P.26

本機を設置する

本機の設置のしかた

プロジェクターを水平な状態にして(調整脚を使わない状態)、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で投映すると台形補正の必要がなく、最良の映像が得られます。(28ページ)



メモ

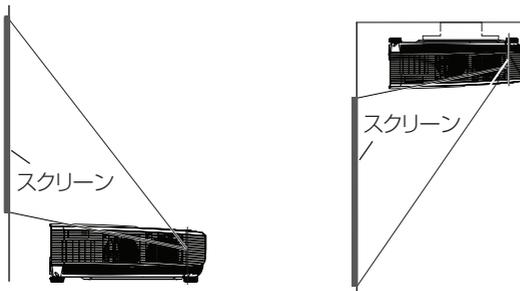
- ・本機は屋内用です。
- ・排気孔側に壁やモノがある場合は、30cm以上スキ間をあけて設置してください。

基本的な設置

■ 投映したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。(19ページ)

基本設置例

横から見たとき

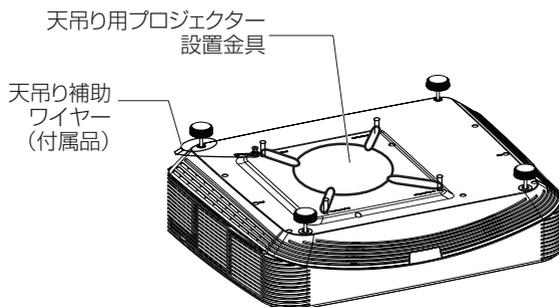


メモ

- ・「画面サイズと投映距離」について詳しくは 19 ページをご覧ください。

天井取り付けのしかた

- 天井に取り付ける場合は、別売の天吊り用プロジェクター設置金具が必要です。設置には、必ず付属品の天吊り補助ワイヤーをご使用ください。取り付けの際は、必ずお買い上げ販売店にご相談ください。



お知らせ

- 付属品の天吊り補助ワイヤーは、左の図のように輪の部分調整脚に通し、もう片方を天吊り用プロジェクター設置金具に取り付けてください。天吊り補助ワイヤーを金具に取り付ける際は、M4ネジで、長さが取り付け金具の厚さ+7~12mmのものを使用してください。



警告

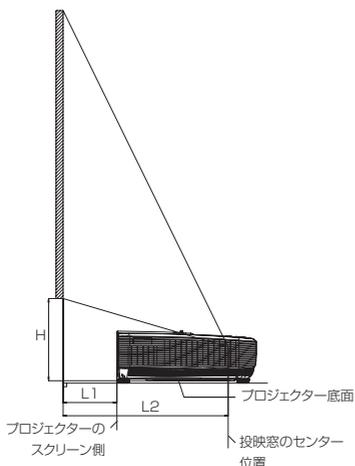
機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店または専門の工事業者にご依頼ください。取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。取り付け強度不足による落下などにつきましては、当社は一切の責任を負いません。ねじ類の締め付けの際は、トルクドライバーやトルクレンチなどを使用し、電動ドライバーやインパクトドライバーなどは使用しないでください。

投映方式

本機は、下図の4通りの投映方式が可能です。設置場所に応じた投映方式を選択してください。(投映方式の設定は「システム設定:基本」の「投映方式」メニューで行うことができます。46ページをご覧ください。)

- 床置き前方投映
メニュー項目→「フロント」
- 天吊り前方投映
メニュー項目→「天吊り」
- 床置き後方投映
(透過スクリーン使用)
メニュー項目→「リア」
- 天吊り後方投映
(透過スクリーン使用)
メニュー項目→「天吊り+リア」

画面サイズと投映距離



メモ

• 下記表の寸法は若干の誤差があります。

16:9信号入力時(標準モード)

画面サイズ			投映距離(L)		プロジェクター底面から画面の最下端までの距離(H)
対角(X)	幅	高さ	L1	L2	
150型(381 cm)	332.1 cm	186.8 cm	44.8 cm	75.8 cm	44.5 cm
120型(305 cm)	265.7 cm	149.4 cm	28.8 cm	59.8 cm	37.5 cm
100型(254 cm)	221.4 cm	124.5 cm	18.2 cm	49.2 cm	32.9 cm
80型(203 cm)	177.1 cm	99.6 cm	7.5 cm	38.6 cm	28.2 cm

X:画面サイズ(型)(cm)

L1:プロジェクターのスクリーン側から画面までの投映距離(cm)

L2:投映窓センター位置から画面までの投映距離(cm)

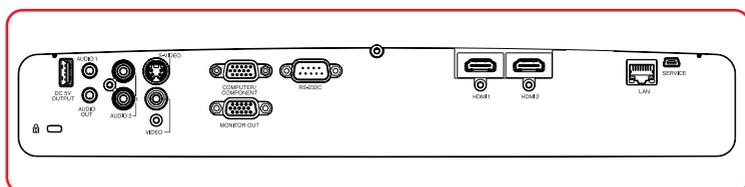
H:プロジェクター底面から画面の最下端までの距離(cm)

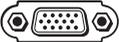
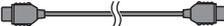
外部機器と接続する

接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、最初にプロジェクターの電源を入れて、後から周辺機器の電源を入れます。

- 使用しているケーブル名称は一例です。詳しくは本機に接続する機器の取扱説明書で確認してください。
- 接続する機器によっては機器専用のケーブルを使用したり、変換プラグやアダプターが必要となる場合があります。

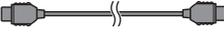
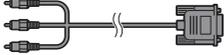
本体側端子



接続機器	接続機器側端子	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
コンピュータ	RGB映像出力端子 	RGBケーブル(付属品) 	COMPUTER/ COMPONENT  COMPUTER/ COMPONENT
	HDMI出力端子 	HDMIケーブル(付属品) 	HDMI 1または2  HDMI 1

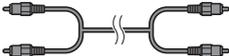
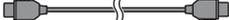
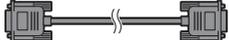
メモ

- 接続するAV機器やDVI⇄HDMI変換ケーブルの仕様によっては、正常に動作しない場合があります。DVI⇄HDMI変換ケーブルを使用した接続は、HDMI規格の認証外であり、全てのHDMI出力端子付きAV機器との接続を保証するものではありません。
- 対応しているコンピュータの表示モードについては、「RGB入力信号(推奨信号)について」(77, 78ページ)をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本機の機能の一部が使用できない場合があります。
- Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプターが必要になる場合があります。販売店、またはもよりのシャープお客様相談センターへお問い合わせください。
- お使いのコンピュータによっては、外部出力ポートを有効にしないと映像が表示されない場合があります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

接続機器	接続機器側端子	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
映像機器	HDMI 出力端子 	HDMIケーブル(付属品) 	HDMI 1または2 
	コンポーネント 映像出力端子 	3RCA/ミニD-sub 15ピン変換ケーブル (市販品) 	COMPUTER/ COMPONENT 
	S映像 出力端子 	S映像ケーブル(市販品) 	S-VIDEO 
	映像 出力端子 	映像ケーブル(市販品) 	VIDEO 
カメラ、ゲーム機	コンポーネント 映像出力端子	専用ケーブル:3RCA/ミニD-sub 15ピン(市販品)  中継プラグ (市販品)	COMPUTER/ COMPONENT 
	S映像 出力端子	専用ケーブル 	S-VIDEO 
	映像 出力端子	専用ケーブル 	VIDEO 

メモ

- HDCP(高帯域幅デジタルコンテンツ保護)システムに対応していますので、デジタル映像信号は通信時に劣化することなく単純な接続により高画質で視聴することができます。
- HDMI端子はCEC信号に対応していません。
- RGB21ピン出力(Euro-scart)で本機に映像機器を接続する場合、接続したいプロジェクターの端子に合う市販のケーブルをお使いください。
- 本機はEuro-scart経由でのRGBC信号には対応していません。

接続機器	接続機器側端子	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
音声機器	φ3.5 mm 音声出力端子 	音声ケーブル(φ3.5 mmステレオミニジャック) (市販品) 	AUDIO 1 
	音声出力端子 	音声ケーブル(市販品) 	AUDIO 2 
	音声出力端子	専用ケーブル 	
モニター	HDMI 出力端子 	HDMIケーブル(付属品) 	HDMI 1 または 2 
	RGB映像入力 端子 	RGBケーブル(付属品または市販品) 	MONITOR OUT 
アンプ、 オーディオ機器	φ3.5 mm 音声入力端子	音声ケーブル(φ3.5 mmステレオミニジャック) (市販品) 	AUDIO OUT 
	音声入力端子	音声ケーブル(RCA/φ3.5 mmステレオミニジャック) (市販品) 	
USB	ミニ USBまた はマイクロ USB端子	ミニ USBまたはマイクロ USBケーブル (市販品)	DC5V OUTPUT 

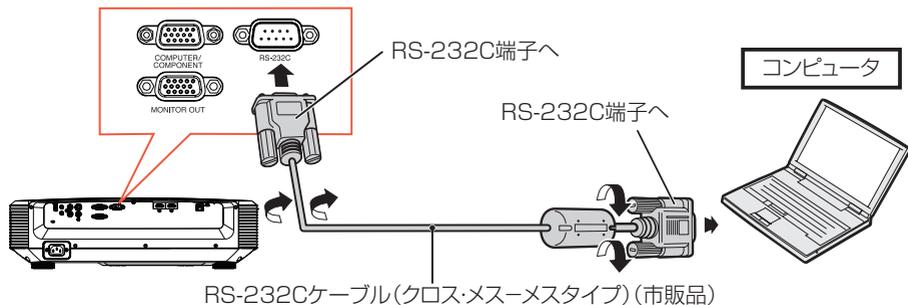
メモ

- φ3.5モノラル音声ケーブルを使用した場合、φ3.5ステレオ音声ケーブルに比べ音量レベルが約半分になります。
- RGB信号およびコンポーネント(色差)信号をモニター出力することができます。HDMI入力映像信号は出力されません。

プロジェクターをコンピュータで制御する

プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル(RS-232C)ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作することができます。

RS-232Cケーブルを使ってコンピュータに接続するとき



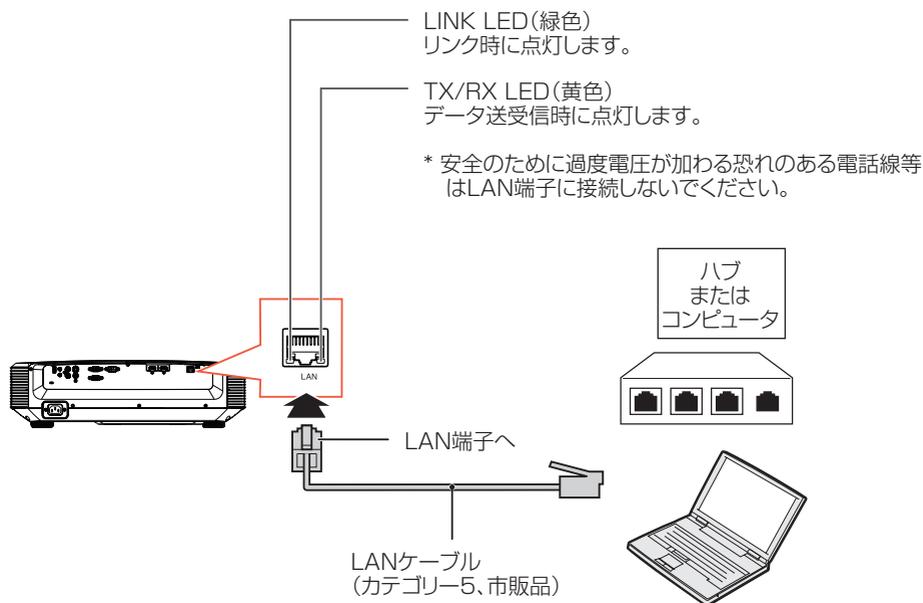
メモ

- RS-232C端子からの制御は、お使いのコンピュータポートが正しく設定されていないと機能しない場合があります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- RS-232Cの仕様とコマンドについては、60ページをご覧ください。

お知らせ

- プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル(RS-232C)ポートとの接続には、RS-232Cケーブル(クロスタイプ、市販品)を使用してください。
- コンピュータ側のシリアル(RS-232C)ポート以外には接続しないでください。コンピュータまたは、プロジェクターが破損する恐れがあります。
- コンピュータの電源が入っているときにRS-232Cケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータの故障の原因になることがあります。

プロジェクターのLAN端子にLANケーブルを接続するとき



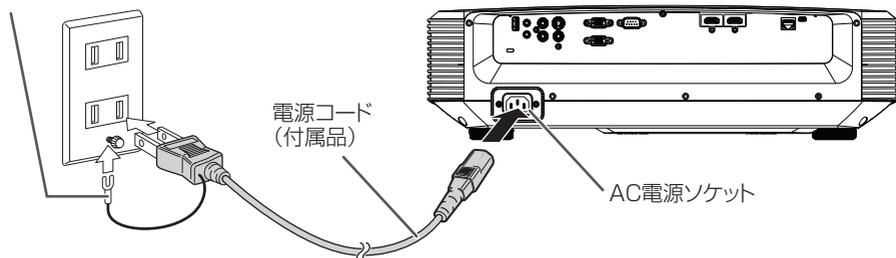
メモ

- ハブに本機を接続する場合には、ストレートタイプのケーブル(カテゴリ5)を使用してください。
- コンピュータと本機を1対1で接続する場合には、クロスタイプのケーブル(カテゴリ5)を使用してください。

電源コードを接続する

付属の電源コードを使って、本機とコンセントをつなぐ

アースコード



警告

電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する。
指定以外の電源を使用すると、火災の原因となることがあります。

アースを接続する。

アースが接続されないと万一故障した場合は、感電のおそれがあります。

アースコード線をコンセントの他の電極に挿入、接触させないでください。

アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。順番が異なると感電の原因になります。

電源の入れかた / 切りかた

電源を入れるとき

操作を始める前に、外部機器との接続・電源コードの接続を済ませておいてください。
(20～25ページ)

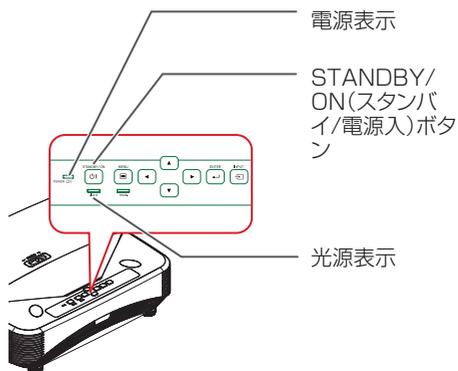
本体の**STANDBY/ON**またはリモコンの**ON**を押す

- 電源表示が緑色で点灯します。

メモ

光源表示について

- 動作状況を以下のようにお知らせします。
赤色点灯: 光源が正常に起動しない(点灯しない)
- パワーオンロックが設定されているときは、パスワード入力画面が表示されます。解除するには、設定したキーコードを入力する必要があります。詳しくは51～52ページをご覧ください。



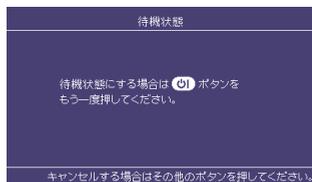
電源を切る (待機状態にする) とき

本体の**STANDBY/ON**またはリモコンの**STANDBY**を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す

- 冷却中は電源を入れることができません。



画面表示 (確認画面)



投映のしかた

投映画像を調整する

1 投映映像のピントを調整する

フォーカス(ピント)調整は本体のフォーカスリングで行います。

画面を見ながらフォーカスリングをまわして調整する

お知らせ

- 起動後30分以上経過してからピントを調整することをお勧めします。

2 投映角度を調整する

調整脚を使ってプロジェクターの高さと傾きを調整することができます。

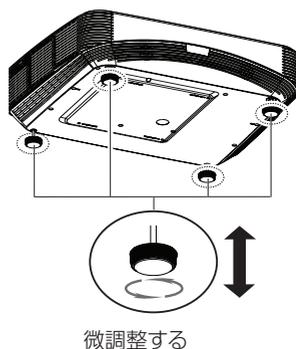
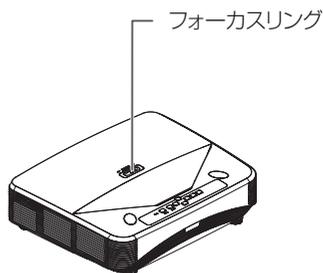
- プロジェクターは、できるだけスクリーンと垂直になるように設置してください。
- 調整脚をまわして、本体が水平になるよう高さと傾きを微調整します。調整範囲以上に調整脚を無理に回さないでください。破損のおそれがあります。

メモ

- 投映角度を調整すると投映画像が台形に歪みます。補正する場合は台形補正機能を設定します。(28ページ)

お知らせ

- 調整脚が出ている状態で、過度な力を加えないでください。
- プロジェクターを下げる際には、調整脚とプロジェクターのすき間に指を挟まないようにご注意ください。
- プロジェクターはしっかり持ってお取り扱いください。



画面の台形歪みを補正する

映像をスクリーンに対して上下から角度をつけて投射すると、映像が台形に歪みます。この台形の歪みを補正する機能が台形補正です。

台形補正には2つの方法があります。

1) 画面上の4点を指定して台形歪みを補正する「4点補正」方式

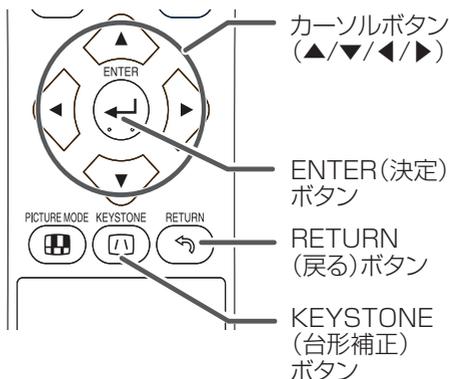
2) 2軸(水平/垂直)の補正量を数値指定する「H&V台形補正」方式

補正の方法を選択する

台形補正の方法を選択します。

1 リモコンのKEYSTONEを押す

2 ▲/▼を押し、「4点補正」または「H&V台形補正」を選ぶ



4点補正	画面上の4点を指定して台形歪みを補正する
H&V台形補正	2軸(水平/垂直)の補正量を数値指定して台形歪みを補正する

メモ

- 台形補正を行うと、調整中、直線や表示された映像の端がギザギザになっているように見ることがあります。
- 台形補正で台形歪みを直せない場合、本体の配置場所を変えてください。
- 4点補正を行う場合、H&V台形補正は解除されます。
- H&V台形補正を行う場合、4点補正は解除されます。
- H&V台形補正で補正できる角度は、スクリーンに対して上下±約10度までです。
- 4点補正で補正できる角度はH&V台形補正の場合と異なる場合があります。

4点補正を行う

1 リモコンのKEYSTONEを押し、「4点補正」を選び、ENTERを押す

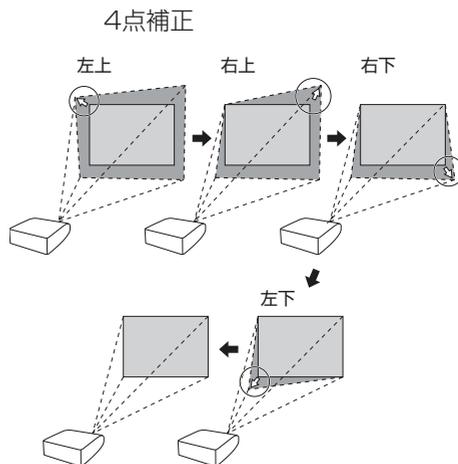
2 ▲/▼/◀/▶を押し、左上を選び、ENTERを押す

3 ▲/▼を押し、垂直位置を調整する
◀/▶を押し、水平位置を調整する

4 MENUを押し、左上以外の隅を選択する

5 同じ手順で、投影したい画面の右上、右下、左下の位置も調整する

- このとき本体またはリモコンのRETURNを押すと、1つ前の画面に戻ります。
- MENUまたはRETURNを2回押すと表示が消えます。



メモ

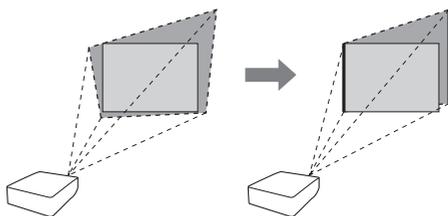
• 入力信号または画面設定を変更した後4点補正は解除される場合があります。その場合、4点補正を選択して再度調整してください。

H&V台形補正

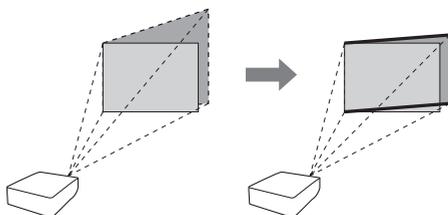
- 1 リモコンのKEYSTONEを押す
「H&V台形補正」を選び、ENTER
を押す
- 2 ▲/▼を押し、投映画面の左右の辺が
平行になるように調整する
- 3 ◀/▶を押し、投映画面の上下の辺が
平行になるように調整する
- 4 MENUを押して位置を確定する



垂直台形補正
(▲/▼で調整)



水平台形補正
(◀/▶で調整)



入力を切り換える

接続した機器にあわせて、入力を選択します。

INPUT ▲/▼を押し、入力切替リストを表示する

INPUT ▲/▼を押し、入力を選択し、**ENTER**を押す

本体の音量を調整する

リモコンの**VOL +/-**を押し、スピーカの音量を調整する

メモ

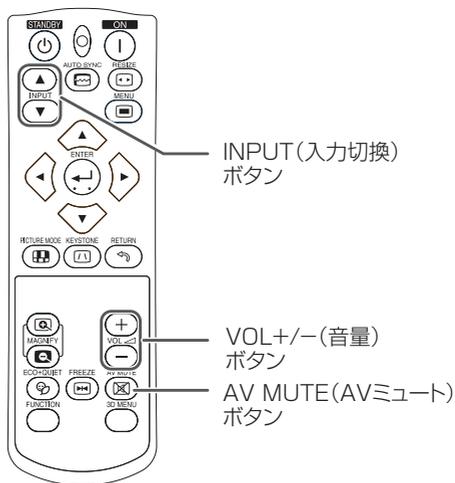
- **VOL-**を押すと音量が小さくなります。
- **VOL+**を押すと音量が大きくなります。
- 外部機器接続時は、外部機器の音量も調整できます。本体の電源を入れる(または切る)、入力信号を変更するときには本体の音量を最小にしてください。

投映した映像と音声を一時的に消す

映像と音声を一時的に消したいときはリモコンの**AV MUTE**を押す

メモ

- もう1度**AV MUTE**を押すと、投映画像に戻ります。



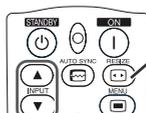
入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ

入力された信号の種類に合わせて、お好みの画面サイズに切り換えることができます。

RESIZEを押す

- メニューで設定する場合は39ページを参照してください。
- RESIZEを押すと以下の順でモードが変わります。

→ 標準 → 4 : 3 → 16 : 9 → 16 : 10

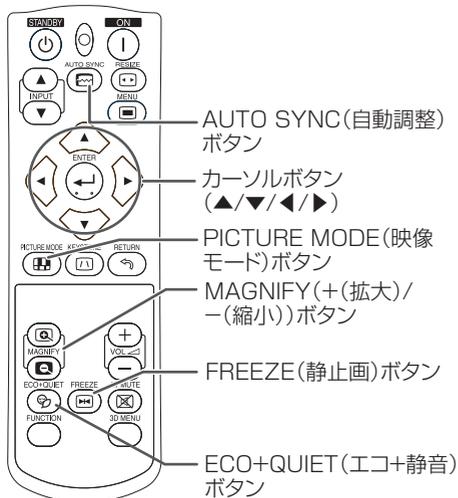


RESIZE (画面サイズ切換) ボタン

著作権について

- 本機のRESIZE (画面サイズ切換) 機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズ (表示イメージ) を選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズ (表示イメージ) を選択してください。
- 映像を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等に、RESIZE (画面サイズ切換) 機能、台形補正機能やオーバースキャン機能を利用して映像の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

リモコンで投映画像を操作する



消費電力を低減する(「エコ+静音」モード)

ECO+QUIETを押すたびに「エコ+静音」モードの入と切が交互に切り換わります。

- 「エコ+静音」モードを「入」にすると消費電力が低減すると同時にファン音も小さくなります。

メモ

- エコ+静音モードについて詳しくは、**49**ページをご覧ください。

コンピュータから入力された画面を自動同期調整する(自動同期調整機能)

本体起動後に新たな映像信号を検出すると、自動同期調整機能が働きます。

AUTO SYNCを押すと強制的に自動同期調整機能が働きます。

メモ

- 自動同期調整を行っても、お客様の意図した映像にならない場合は、手動で同期調整を行ってください。(40ページ)

投映中の画像を静止画にする

1 FREEZEを押す

- 投映中の画像が静止画になります。
- 音声は消えません。

2 FREEZEを再度押すと接続した機器の現在の画像に戻ります。

投映する画像に合わせた映像モードを選ぶ

映画やゲームなど投映する画像に合わせた映像モードを選ぶことができます。

PICTURE MODEを押す

- PICTURE MODEを押すたびに、以下の順番で切り換わります。

標準 → プレゼンテーション → 明るさ優先 → シネマ

メモ

- 映像モードについて詳しくは、**41**ページをご覧ください。

画像を拡大表示する

グラフや表など画像の一部を拡大することができます。より詳しい説明をするときに便利です。

1 リモコンのMAGNIFY を押す

- ×2 の倍率に拡大されます。
-  (拡大) または  (縮小) で、投映画像の拡大、縮小が行えます。



 を押す

0.8X 0.9X 1.0X 1.1X 1.2X … 2.0X

 を押す

- 初期設定の倍率は×1です。
- ENTERを押してパンモードにすると、拡大された画像の位置を変えることができます。再度ENTERを押すと拡大モードに戻ります。

2 リモコンのRETURNを押し解除する

- 倍率は×1に戻ります。

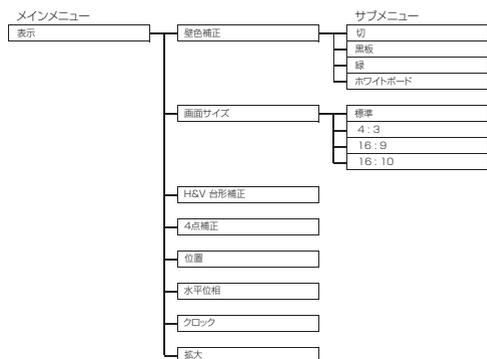


- 入力信号によってはこの機能を使うことができません。
- 4点補正が行われていると、倍率×1の大きさより小さくできません。
- 次の場合、拡大された画像がもとの大きさ(×1)に戻ります。
 - 入力切換を行ったとき
 - 入力信号を変更したとき
 - 入力信号の解像度やリフレッシュレート(垂直周波数)が変わったとき
 - 自動調整機能を作動したとき
- 32ページの「著作権について」もご覧ください。

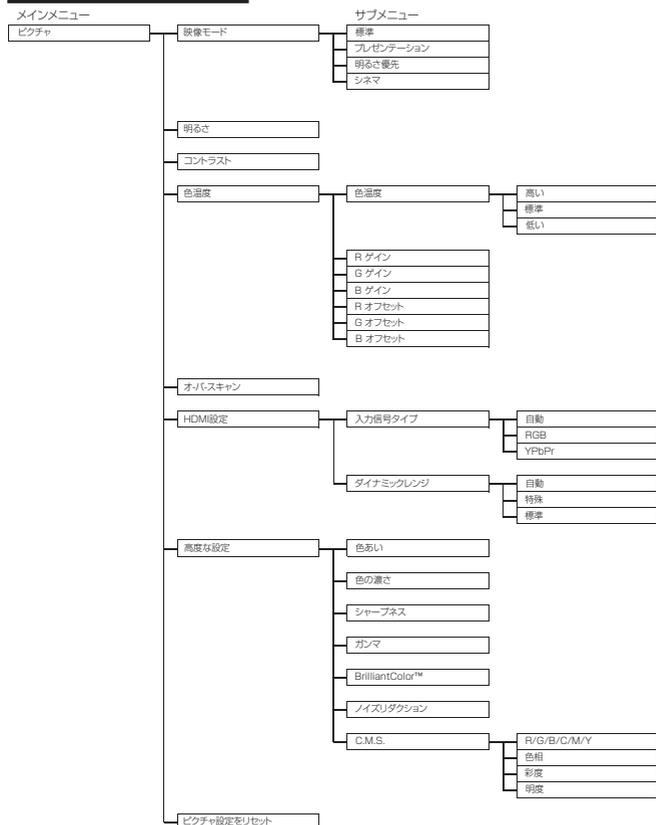
メニュー内容一覧

次の項目が本機で設定できます。

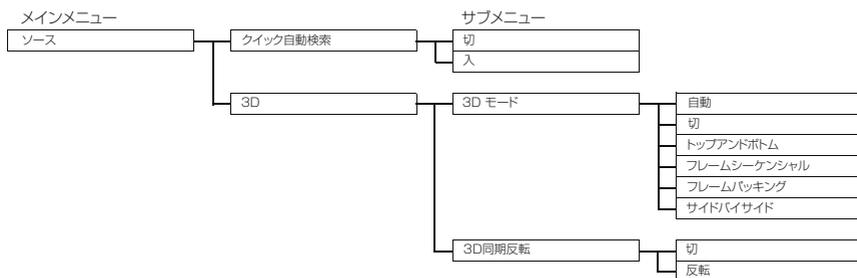
「表示」メニュー



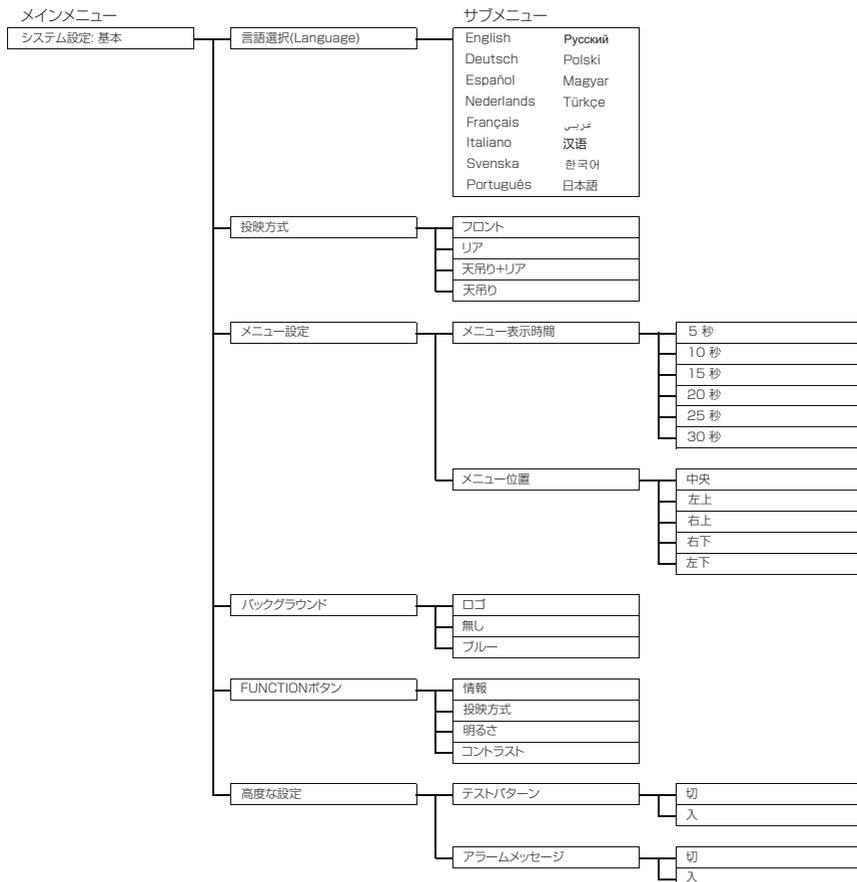
「ピクチャ」メニュー



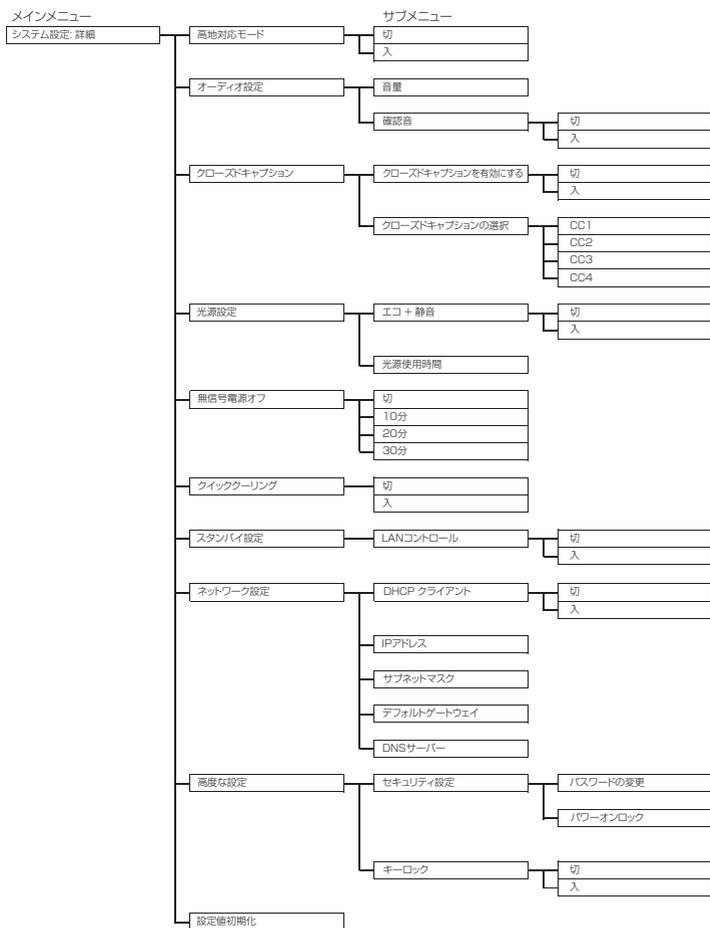
「ソース」メニュー



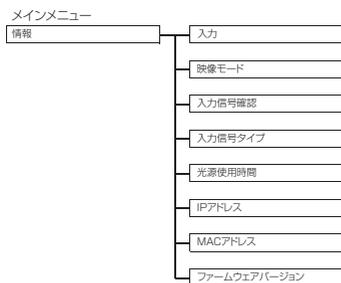
「システム設定: 基本」メニュー



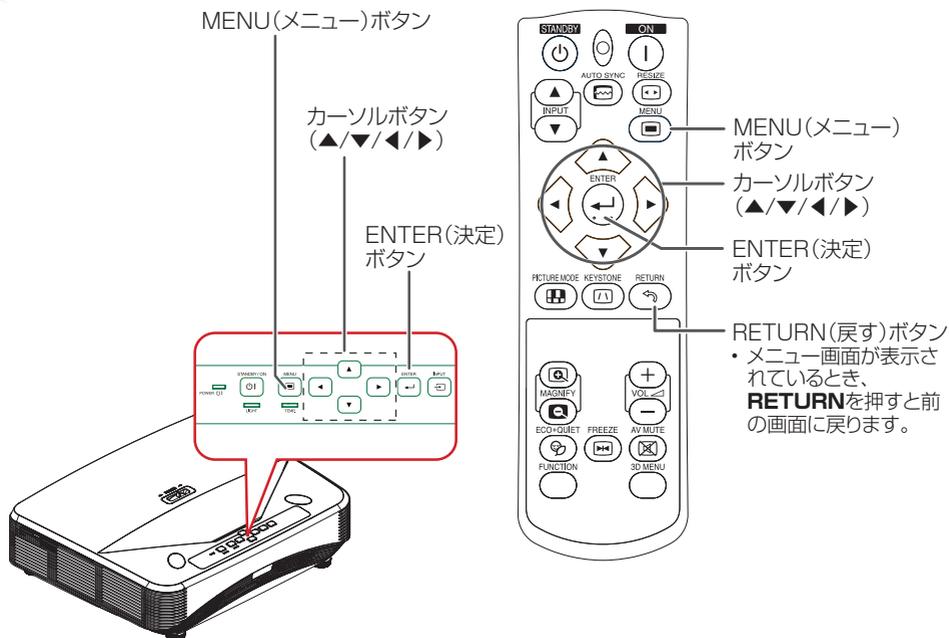
「システム設定: 詳細」メニュー



「情報」メニュー



メニュー操作のしかた



メニュー選択

・この操作は本体のボタンでも行うことができます。

- 1 MENUを押してOSDメニューを表示します。
- 2 ◀または▶を押し、メインメニューの項目を選択します。
- 3 ▼を押し、サブメニュー画面にします。
- 4 ▲または▼を押し、項目を選択します。
- 5 ◀または▶を押し、必要な項目を選択したり設定を調整します。
- 6 MENUを押すと画面はメインメニューに戻るまたはメニューの前の段階に戻ります。
- 7 MENUを押し、終了して設定を保存します。

「表示」メニュー

操作方法 → 38ページ参照



1. 壁色補正をする（壁色補正）

この機能によってスクリーンを使うことなく色のついた(白色または濃緑色)面や壁に画像を投射することができます。

選択項目	内容
切	壁色補正機能が働きません。
黒板	黒板(濃緑色)へ投映時に選択します。
緑	緑色の壁へ投映時に選択します。
ホワイトボード	ホワイトボードへ投映時に選択します。

2. 入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ（画面サイズ）

垂直方向または水平方向に画像を伸ばす、あるいは画像の端が切れてしまっている際にこの機能を使います。

→ 標準 → 4 : 3 → 16 : 9 → 16 : 10

メモ

- リモコンの**RESIZE**を押すことでも画面切換モードを設定できます。(32ページ)

3. 台形補正をする（H&V台形補正）

上下または左右の辺を調整して画像を補正します。H&V台形補正について詳しくは、30ページをご覧ください。

4. 台形補正をする（4点補正）

投映された画像の4隅を調整して画像を補正します。4点補正について詳しくは、29ページをご覧ください。

メモ

- 台形補正で補正できる角度は、スクリーンに対して上下±約10度までです。
- リモコンの**KEYSTONE**を押すことでも台形補正を行うことができます。

5. コンピュータ画像を調整する (位置 / 水平位相 / クロック)

自動同期調整を行っても、お客様の意図した画像にならない場合は、この機能をお使いください。

選択項目	内容
位置	スクリーン上の映像を左右に移動させます。
	スクリーン上の映像を上下に移動させます。
水平位相	水平ノイズを調整します。(トラッキング調整)
クロック	垂直ノイズを調整します。



メモ

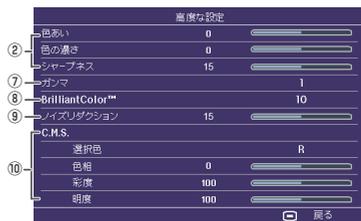
- 調整可能な位置の範囲(水平または垂直)はコンピュータの解像度によって異なります。

6. 画像を拡大表示する (拡大)

グラフや表など画像の一部を拡大することができます。より詳しい説明をするときに便利です。拡大について詳しくは、34ページをご覧ください。

「ピクチャ」メニュー

操作方法 → 38ページ参照



1. 映像モードを選ぶ (映像モード)

選択項目	内容
標準	標準の設定です。
プレゼンテーション	明るくメリハリを効かせたいときに設定します。
明るさ優先	明るい場所で使用します。
シネマ	自然な色合いで放映したいときに設定します。

- 「ピクチャ」メニュー内の各項目は、お好みに応じた組み合わせに変更できます。変更した内容はそのまま記憶されます。

メモ

- リモコンの**PICTURE MODE**でも選択できます。(33ページ)

2. お好みの映像に調整する (明るさ / コントラスト / 色あい / 色の濃さ / シャープネス)

調整項目	◀ボタン	▶ボタン
明るさ	画像を暗くする	画像を明るくする
コントラスト	映像の明部と暗部の差を弱くする	映像の明部と暗部の差を強くする
色あい*1	紫がかった色あいにする	緑がかった色あいにする
色の濃さ*1	色をうすくする	色を濃くする
シャープネス	画像の輪郭をやわらかくする	画像の輪郭をくっきりさせる

*1 この機能はVIDEOまたはS-VIDEO入力、コンポーネント信号のCOMPUTER/HDMI1または2入力で使用できます。

メモ

- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「ピクチャ設定をリセット」を選び**ENTER**を押します。

3. 色味を変える（色温度）

選択項目	内容
高い	青みがかった映像になります。(すっきりした感じの色にしたいとき)
標準	標準の映像になります。
低い	赤みがかった映像になります。(温かい感じの色にしたいとき)

調整項目	◀ ボタン	▶ ボタン
Rゲイン	赤色の中のコントラストを弱くします	赤色の中のコントラストを強くします
Gゲイン	緑色の中のコントラストを弱くします	緑色の中のコントラストを強くします
Bゲイン	青色の中のコントラストを弱くします	青色の中のコントラストを強くします
Rオフセット	赤色の中の明るさを弱くします	赤色の中の明るさを強くします
Gオフセット	緑色の中の明るさを弱くします	緑色の中の明るさを強くします
Bオフセット	青色の中の明るさを弱くします	青色の中の明るさを強くします

4. オーバースキャンの調整をする（オーバースキャン）

オーバースキャン率(表示エリア)の調整ができます。

選択項目	内容
切	表示エリア全体を表示します。
1 - 5	表示エリアを、ふちなしで表示します。

メモ

- オーバースキャンは、下記の入力信号のときに調整できます。
コンポーネント信号のCOMPUTER/HDMI1または2入力の場合：
—480P, 576P, 720P, 1080i, 1080P
VIDEO またはS-VIDEO入力の場合：
—全ての信号
- オーバースキャンの設定が「切」を設定して画面端にノイズが表示する場合は、調整値を適切に設定してください。
- 32ページの「著作権について」もご覧ください。

5. 入力信号タイプを設定する（HDMI 設定）

入力がHDMI1、HDMI2の場合は、入力信号に合わせてRGBかYPbPrを選択します。

選択項目	内容
自動	RGBとYPbPrから入力信号に合わせて自動的に選択します。
RGB	RGB信号を入力するときに設定します。
YPbPr	色差(コンポーネント)信号を入力するときに設定します。

6. ダイナミックレンジを調整する (HDMI 設定)

HDMI映像出力機器の出力形式と、本機の入力信号形式が合っていないと、最良の映像が投映されない場合があります。そのようなときにダイナミックレンジを切り換えます。

選択項目	内容
自動	通常は、「自動」の設定でご使用ください。
標準	映像の黒部がつぶれたり、黒部が浮き上がったりするときに、映像が最良になる方を選択します。
特殊	

7. 映像を補正する (ガンマ)

投映の状況などにより、映像の暗い部分が見にくい場合に、ガンマ設定を補正して、映像を明るく見やすくすることができます。

選択項目	内容
1 - 5	映像がもっとも見やすくなるように設定します。

8.BrilliantColor™を調整する (BrilliantColor™)

BrilliantColor™は、テキサス・インスツルメンツのBrilliantColor™テクノロジーを使用しており、設定値を大きくすることにより、色再現性を保ちながら高輝度な映像を表現します。

選択項目	内容
切	The BrilliantColor™ が働きません。
1 - 10	The BrilliantColor™ 機能を働かせてレベルを調整します。

9. ノイズを軽減する (ノイズリダクション)

ノイズリダクション機能を使うことで、微細なドットのちらつきやクロスカラーノイズを軽減できます。

選択項目	内容
0	DNRが働きません。
1 - 31	映像がもっとも見やすくなるようにレベルを設定します。



次のような場合は「切」に設定します。

- 画像がぼやけて見えるとき
- 動きのある映像で輪郭や色が尾を引くように見えるとき
- 電波の弱いテレビ放送を投映しているとき

10. 色を調整する (C. M. S.)

色の構成要素となる6つの系統色のそれぞれの色相・彩度・明度を調整することができます。

選択色	選択項目
R	赤
G	緑
B	青
C	シアン
M	マゼンタ
Y	黄

調整項目	◀ボタン	▶ボタン
色相	選択色の色合いを弱くします	選択色の色合いを強くします
彩度	選択色の彩度を弱くします	選択色の彩度を強くします
明度	選択色の明度を弱くします	選択色の明度を強くします

「ソース」メニュー

操作方法 → 38ページ参照



1. 入力信号を自動的に検出する (クイック自動検索)

選択項目	内容
切	「クイック自動検索」が働きません。
入	プロジェクターの電源が入ったとき、または入力信号が何も検出されないとき、自動的に検索して適切な入力モードに切り換わります。

メモ

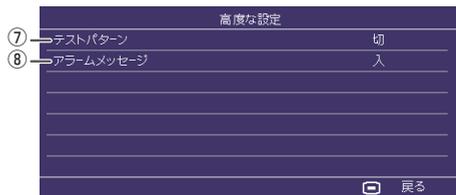
- 「クイック自動検索」が「入」のとき、映像機器の種類によっては、プロジェクターの電源を入れたとき入力が次の入力に切り換わる場合があります。
- 入力モードを切り換えると、クイック自動検索が一時的に「切」になりますが次に電源を入れたとき、「入」に戻ります。

2. 3D を視聴する (3D)

「3D映像を視聴する」について詳しくは、57ページをご覧ください。

「システム設定：基本」メニュー

操作方法 → 38ページ参照



1. 画面に表示する言語を選択する（言語選択）

本機は画面表示の言語として16言語を切り換えることができます。

English	Русский
Deutsch	Polski
Español	Magyar
Nederlands	Türkçe
Français	عربي
Italiano	汉语
Svenska	한국어
Português	日本語

2. 投映環境に合わせた投映方式を選択する（投映方式）

選択項目	内容
フロント	通常映像（スクリーンの正面から投映するとき）
天吊り	上下反転された映像（プロジェクターを逆さまにしてスクリーンの正面から投映するとき）
リア	左右反転された映像（スクリーンの背面から投映したり、鏡を使って投映したとき）
天吊り+リア	左右／上下反転された映像（プロジェクターの映像を鏡を使って投映したとき）

3. メニュー画面の表示時間を設定する（メニュー設定）

「メニュー設定」の「メニュー表示時間」でメニュー画面の表示時間を選択することができます。表示時間の範囲は5秒から30秒です。

4. メニュー画面の表示位置を設定する（メニュー設定）

「表示設定」の「メニュー位置」でメニュー画面を表示させる位置を設定することができます。

選択項目	内容
中央	画面の中央に表示します。
右上	画面の右上に表示します。
右下	画面の右下に表示します。
左上	画面の左上に表示します。
左下	画面の左下に表示します。

5. 無信号時やオープニング時に投映する画面を設定する (バックグラウンド)

選択項目	内容
ロゴ	SHARPロゴ画面
ブルー	青い画面
無し	—

6. FUNCTION ボタンを設定する (FUNCTION ボタン)

リモコンの**FUNCTION**ボタンに以下の機能のうちの1つを指定することができます。指定された機能は**FUNCTION**ボタンを押すだけで実行されます。

選択項目	内容
情報	情報メニューが表示されます。
投映方式	投映方式を選択します。
明るさ	明るさを調整します。
コントラスト	コントラストを調整します。

7. テストパターン表示を設定する (テストパターン)

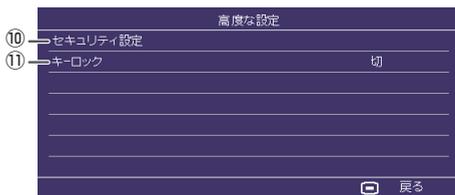
選択項目	内容
切	テストパターンが表示されません。
入	テストパターンが表示されます。

8. アラームメッセージ表示を設定する (アラームメッセージ)

選択項目	内容
切	アラームメッセージ(入力信号、入力検索、情報など)が表示されません。
入	アラームメッセージが表示されます。

「システム設定：詳細」メニュー

操作方法 → 38ページ参照



1. 高地対応モードを設定する (高地対応モード)

ファンの回転速度を設定します。

選択項目	内容
切	標準的な環境に適しています。
入	標高約1500m以上でご使用になるときに設定します。

「高地対応モード」を「入」に設定したときは、設置環境によりファンの回転速度が速くなるためファン音が大きくなります。

2. 音声機能を設定する (オーディオ設定)

■ 音量を調整する

プロジェクターの音量を調整することができます。

調整項目	◀を押す	▶を押す
音量	音量を下げます	音量を上げます

■ 確認音を設定する

確認音を設定することができます。

選択項目	内容
入	本体の電源を入/切すると、確認音が出ます。
切	確認音が出ません。

3. クローズドキャプションを設定する (クローズドキャプション)

お知らせ

- この機能はNTSC3.58信号用です。

- 「クローズドキャプション」はテレビ番組(地域は限定されます)やホームビデオ内の会話、ナレーション、音響効果等を画面の上に字幕で見られるようにするシステムです。
- 全ての番組やビデオでクローズドキャプションが利用できるわけではありません。 マークを探して字幕が出るかを確認してください。

■ クローズドキャプションを設定する

選択項目	内容
切	クローズドキャプションが動きません。
入	クローズドキャプションが働きます。

■ クローズドキャプションのチャンネルを設定する

選択項目	内容
CC1	CH1データ用クローズドキャプションモード
CC2	CH2データ用クローズドキャプションモード
CC3	CH3データ用クローズドキャプションモード
CC4	CH4データ用クローズドキャプションモード

メモ

- 信号の状態が悪いまたは放送元に問題がある場合、クローズドキャプションはうまく作動しない場合があります。(白いブロックや文字化けなど)必ずしも本体に問題があることを示しているわけではありません。
- クローズドキャプション放送を見ている間、何らかのボタンが押されてスクリーン上に表示が出た場合、クローズドキャプションは消えます。

4. 光源設定を選択する (光源設定)

光源設定を変更し、光源使用時間を確認することができます。

■ エコ+静音

選択項目	明るさと消費電力
切	100%
入	約80%

メモ

- 「エコ+静音」を「入」に設定すると、「切」を選択していたときに比べてファン音と消費電力が低減します。(上記表内のように投映画面の明るさも低減します。)

■ 光源情報

光源使用時間を確認することができます。

5. 無信号電源オフモードを設定する (無信号電源オフ)

選択項目	内容
切	無信号電源オフ機能が動きません。
10分	無信号状態が続いたときにプロジェクターが自動的に待機状態になる時間を選択します。
20分	
30分	

メモ

- 無信号電源オフ機能を「切」以外に設定した場合は、待機状態になる30秒前になると、画面上にメッセージが表示されます。

6. クイッククーリング機能 (クイッククーリング)

冷却時間を変えることができます。

選択項目	内容
切	冷却時間が標準の時間になります。
入	冷却時間が短くなります。

7. 待機状態モードを設定する (スタンバイ設定)

待機状態のときに消費電力が低減します。

■ LANコントロール

待機状態中にネットワーク機能を使うことができます。

選択項目	内容
切	プロジェクターが待機状態でネットワーク機能が無効になります。
入	プロジェクターが待機状態でもネットワーク機能が有効になります。

8. DHCPクライアント機能を 設定する (ネットワーク設定)

LANケーブルは、本機の電源を入れる前に接続します。電源を入れた後にLANケーブルを接続すると、DHCPクライアント機能が働きません。

選択項目	内容
入	TCP/IP設定値を自動的に取得します。
切	TCP/IPを自分で入力します。

「DHCPクライアント」を「入」に設定したとき、「設定を反映します」を選択し、**ENTER**を押してください。

9. TCP/IP を設定する (ネットワーク設定)

TCP/IPを自分で入力します。

- 1 「DHCPクライアント」の「切」を選択する
- 2 「IPアドレス」を選び、ENTERを押す
- 3 ▲/▼/◀/▶を使って「IPアドレス」を入力し、ENTERを押す
- 4 「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」、「DNSサーバー」で同じ手順を繰り返す
- 5 「設定を反映します」を選択し、ENTERを押す

選択項目	内容
IPアドレス	出荷設定値: 0.0.0.0 ネットワークに適したIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	出荷設定値: 0.0.0.0 コンピュータやネットワーク上の機器と同じサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	出荷設定値: 0.0.0.0 * 使用しない場合は「0.0.0.0」に設定してください。
DNSサーバー	出荷設定値: 0.0.0.0 ネットワークに適したDNSサーバーアドレスを入力します。

メモ

- 使用しているネットワークのセグメント(IPアドレスのグループ)をご確認の上、他のネットワーク機器やコンピュータのIPアドレスと重複しないように設定してください。
- 各設定値について詳しくは、ネットワーク管理者にご相談ください。

10. セキュリティを設定する (セキュリティ設定)

プロジェクターが許可なく使われることを防ぎます。いったんこの機能が働くと、ユーザーはプロジェクターの電源を入れるたびに正しいパスワードを入れなければいけません。許可されたユーザーがアクセスできる安全な場所にパスワードを記録しておくことをお勧めします。

お知らせ

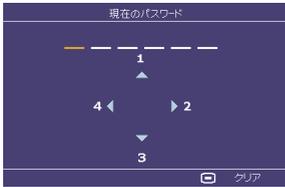
- パスワードを失くしたり忘れてしまった場合は、販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。商品の保証が有効であっても、パスワードのリセットを依頼すると料金が発生します。

■ パスワードを設定／変更する

- 1 「セキュリティ設定」を選択し、ENTERを押す
- 2 「パスワードの変更」を選択し、ENTERを押す
 - パスワード入力画面になります。

3 リモコンまたは本体の▲/▼/◀/▶ボタンを押し、「現在のパスワード」の欄に設定済みのパスワードを入力する

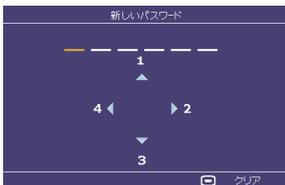
- 初めてパスワードを設定する際は、「現在のパスワード」入力は省略されます。



メモ

- 間違ったパスワードを入力した場合、カーソルが「現在のパスワード」欄の最初の桁に戻ります。

4 リモコンまたは本体の▲/▼/◀/▶ボタンを押し、「新しいパスワード」の欄に新しいパスワードを入力する



5 「新しいパスワードの確認」欄で同じパスワードを再度入力する

■ パワーオンロック

パワーオンロックが設定されているときは、電源を入れたあとにパスワード入力画面が表示されません。その際正しいパスワードを入力しないと画像は投映されません。

選択項目	内容
切	「パワーオンロック」が動きません。
入	「パワーオンロック」が動きます。

- 初めてパワーオンロックを設定するときは、パスワードを入力してください。

11. 本体の操作ボタンをロックする（キーロック）

本体の操作ボタンをロックするためにこの操作を使います。

■ メニュー画面で設定する

選択項目	内容
入	STANDBY/ON以外を除く本体にある全てのボタンがロックされます。
切	キーロック機能を解除します。

■ キーロックの解除のしかた

1 本体の電源が入っているときに、本体の▶を約3秒間押し続ける

- キーロックをした状態で本機を操作したいときは、リモコンで操作してください。

12. 設定値を工場出荷状態に戻す（設定値初期化）

「設定値初期化」の機能を使って、設定内容を初期化することができます。

メモ

- 以下の項目またはメニューは初期化できません。
 - 台形補正
 - 投映方式
 - 高地対応モード
 - ネットワーク設定
 - セキュリティ設定
 - 光源使用時間

本機の情報を確認する

操作方法 → 38ページ参照



1. 本機の情報を確認する

以下の項目を確認することができます。

選択項目	内容
入力	本体の入力モードが表示されます。
映像モード	本体の映像モードが表示されます。
入力信号確認	入力信号の情報を確認することができます。
入力信号タイプ	本体の入力信号タイプが表示されます。
光源使用時間	本体の光源使用時間が表示されます。
IPアドレス	本体のIPアドレスが表示されます。
MACアドレス	本体のMACアドレスが表示されます。
ファームウェアバージョン	本体のファームウェアバージョンが表示されます。

3D 映像を視聴する

3D映像を視聴中のご注意

3D映像を視聴する前に、このページをよくお読みください。



警告

- 通常の状態では画面を見ている間、3D映像を視聴することは問題ありません。しかし見え方には個人差があり、見えづらいと感じる人もいます。以下の注意は視聴上の問題や不快な症状をなるべく少なくするために推奨されています。
- 3D映像の視聴中は30分から60分ごとに1回、最低でも5分から15分の休息を定期的にとってください。
* 2008年12月10日に3Dコンソーシアムによって発行されたガイドラインに基づいています。
- 画面から適度に離れた距離を維持してください。距離が近すぎると、目を疲労させる原因となります。目に疲労を感じた場合、すぐに視聴をやめてください。
視聴中に以下の症状を感じた場合、
 - ・ 吐き気、むかつき/めまい、頭痛、目のかすみまたは映像が二重に見えるなどが数秒続く
症状が完全になくなるまで、危険をとまなう行為（例、車の運転など）を行わないでください。症状が続く場合1度使用をやめ、医師との相談なしに再び3D視聴を始めることはしないでください。
 - ・ 3D映像を快適に視聴するには
 - ・ 3D映像再生機器の視差を調整してください。（機種によっては視差を調整できないことがあります。）
 - ・ 投映画像を拡大/縮小して、最適なサイズに調整します。
（不適切なサイズで投映すると、3D効果が得られず、また目の疲労の原因となります。）
 - ・ 3D同期反転機能を使用して、映像を左右の目に合うように設定します。「3D同期反転」の使用について、詳しくは本書内にあります3D同期反転の操作に関するページをご覧ください。）
- 以下の人は3D視聴が制限されます：
 - 6歳未満のお子様（目の発育過程を保護するため）
 - 光過敏の既往症のある人
 - 心臓に疾患のある人
 - 体調不良の人
 - 睡眠不足の人
 - 身体的な疲労のある人
 - 薬を服用またはアルコールの影響がある人

■ てんかん

光がちらつくパターンを含めた特定の映像の種類を見たとき、てんかんの発作が起こりうる人がわずかにいます。

家族にてんかんの既往症のある人がいる場合

以下の人は3D映像を視聴する前に医師と相談する必要があります。

- てんかんの既往症のある人、または家族にてんかんの既往症のある人がいる人すべて
- 6歳未満のお子様
- 今までにてんかんの症状があらわれた人、または光がちらつく影響によって深刻な症状を引き起こされた人すべて

光のパターンによってはてんかんの既往症のない人も発作を引き起こす可能性があります

3D映像を視聴中に以下の症状があらわれた場合は使用を中止してください

- 目や筋肉がひきつる
- 筋肉のけいれん
- 吐き気、めまい、むかつき
- ひきつけ
- 方向感覚を失う、意識混濁、または周囲を認識できない

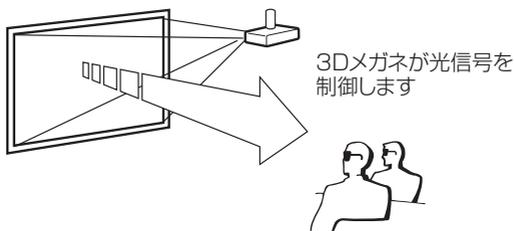
3D投映機能について

- 3D映像を表示するには、以下の物が必要となります：
必要となるものは
1) 3Dに対応したソースデバイス
—サポートされた信号について詳しくは、本書内のRGB入力信号(推奨信号)についてをご覧ください。
2) DLP® Link™* 方式の3Dメガネ
—購入について詳しくは販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
* DLP® Link™はテキサス・インスツルメンツ社の登録商標です。
- 投映画像は3D映像機能を使用中に暗くなる可能性があります(“DLP® Link™”が「入」に設定された状態)。
- 3D映像を視聴しているとき、以下の機能の一部が使えないまたは全く使えなくなる可能性があります。
—台形補正/画面サイズ/拡大
- 左右の目で視力に大きな差があるなどすると、3D効果を得られないことがあります。
また、投映する映像のコンテンツによっても、3D映像にならない場合があります。
3D効果には個人差があります。
- 3D視聴は3Dメガネがスクリーンから光の信号を受信できる範囲内で可能です。しかし、ほとんどの3D映像はスクリーンに向かって正面から見るように作成されていますので、できるだけスクリーンの正面から視聴することをお勧めします。
—3Dメガネによって信号を受信できる範囲は異なります。詳しくは、お手持ちの3Dメガネの取扱説明書をご覧ください。
- お手持ちのコンピュータで3D映像が正しく再生されない可能性があります。

付録

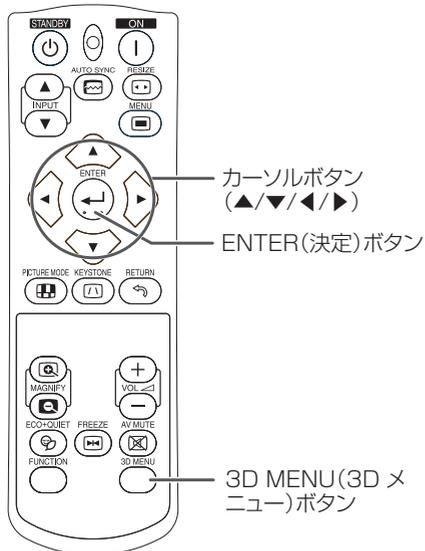
■ 3D投映機能(DLP Link™)の仕組み

本体の3D投映機能はDLP® Link™方式に合うようになっています。3D映像を見るには、左目と右目の投映画像を交互に表示し、制御(光)信号に同期した3Dメガネを使用します。



* 光制御信号は本体のレンズから送信され、スクリーンに反射し、3Dメガネの光受信部で受信します。したがって、3D視聴できる範囲は3Dメガネの仕様によって異なります。(光信号の受信度)
詳しくは、お手持ちの3Dメガネの取扱説明書をご覧ください。

3D 映像を楽しむ



メモ

- 本機が3D映像信号を検出しようとするときや、3Dモードから2Dモードに切り換わるとき、一時的に投映が途絶えることがあります。

3D映像を視聴する

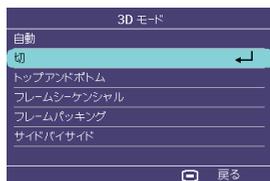
自動識別信号のある3D映像を入力したとき

映像信号によっては3D識別信号が含まれているものがあります。

- 1 **3D MENUを押す**
• 3Dメニュー画面が表示されます。

- 2 **▲/▼を押し、「3Dモード」を選び、ENTERを押す**

- 3 **▲/▼を押し、リストから対応フォーマットを選び、ENTERを押す**



- 入力信号と同じ方式を選択すると、3D映像が表示されます。
- 自動識別信号を入力したときは、「自動」が選択されます。

- 4 **3Dメガネの電源を入れ、メガネをかける**

- 5 **3D映像を視聴できる**

3D映像の視聴を終了する

1 3Dモードの間に3D MENUを押す

2 ▲/▼を押し、「3Dモード」を選び、ENTERを押す

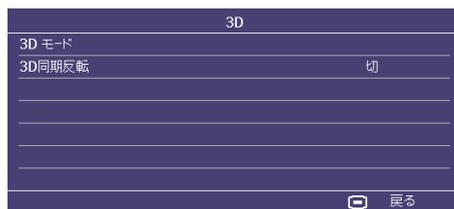
3 ▲/▼を押し、リストから「切」を選び、ENTERを押す

4 3Dメガネをはずして3Dメガネの電源を切る

メモ

- 入力信号を2Dに切り換えると、2D映像が自動的に表示されます。
- 3D視聴モードの間はピクチャ設定が変更できません。

3D設定をする(3Dメニュー)



3Dモード

自動識別信号のない3D映像を受信したときは手動で3D映像表示方式を設定できます。

選択項目	内容
自動	入力された3D識別信号に合わせて自動的に映像表示方式を選択します。
切	3Dモードが働きません。
トップアンドボトム フレームシーケンシャル フレームパッキング サイドバイサイド	受信した3D信号と同じ種類の映像表示方式を選択します。

メモ

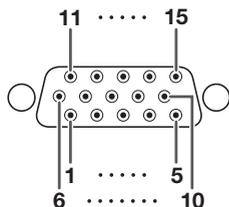
- 3D対応信号と3D映像表示方式については、「入力信号(推奨信号)について」(77ページ)をご覧ください。

3D同期反転

「切」または「反転」を選択すると、左目用と右目用の映像が切り換わるのでより自然に見えるように設定してください。

本体端子のピン配置

COMPUTER/COMPONENT入力端子とCOMPUTER/COMPONENT出力端子: ミニ D-sub 15ピンコネクタ(メス)



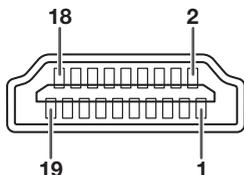
コンピュータ入/出力 ピン番号 信号名

- | | |
|-----|-------------------|
| 1. | 映像入力(赤) |
| 2. | 映像入力(緑/シンクオングリーン) |
| 3. | 映像入力(青) |
| 4. | NC |
| 5. | NC |
| 6. | 接地(赤) |
| 7. | 接地(緑/シンクオングリーン) |
| 8. | 接地(青) |
| 9. | NC |
| 10. | 接地 |
| 11. | NC |
| 12. | データ |
| 13. | 水平同期信号TTLレベル |
| 14. | 垂直同期信号TTLレベル |
| 15. | クロック |

コンピュータ入/出力 ピン番号 信号名

- | | |
|-----|--------|
| 1. | PR(CR) |
| 2. | Y |
| 3. | PB(CB) |
| 4. | NC |
| 5. | NC |
| 6. | 接地(PR) |
| 7. | 接地(Y) |
| 8. | 接地(PB) |
| 9. | NC |
| 10. | NC |
| 11. | NC |
| 12. | NC |
| 13. | NC |
| 14. | NC |
| 15. | NC |

HDMI 端子



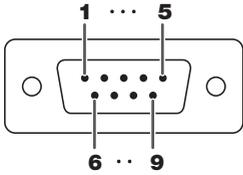
ピン番号 信号名

- | | |
|-----|--------------|
| 1. | TMDSデータ2+ |
| 2. | TMDSデータ2シールド |
| 3. | TMDSデータ2- |
| 4. | TMDSデータ1+ |
| 5. | TMDSデータ1シールド |
| 6. | TMDSデータ1- |
| 7. | TMDSデータ0+ |
| 8. | TMDSデータ0シールド |
| 9. | TMDSデータ0- |
| 10. | TMDSクロック+ |

ピン番号 信号名

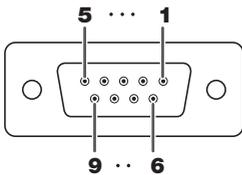
- | | |
|-----|--------------|
| 11. | TMDSクロックシールド |
| 12. | TMDSクロック- |
| 13. | CEC |
| 14. | N.C. |
| 15. | SCL |
| 16. | SDA |
| 17. | DDC/CEC GND |
| 18. | +5V |
| 19. | ホットプラグ検知 |

RS-232C端子:9ピンD-subコネクタ(オス)



ピン番号	信号名	信号名	I/O	参考
1.				NC
2.	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3.	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4.				NC
5.	SG	接地		内部回路に接続
6.				NC
7.	RS	送信要求		内部回路でCSに接続
8.	CS	送信可		内部回路でRSに接続
9.				NC

RS-232C端子:9ピンD-Subコネクタ(メス)



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1.	CD	1.	CD
2.	RD	2.	RD
3.	SD	3.	SD
4.	ER	4.	ER
5.	SG	5.	SG
6.	DR	6.	DR
7.	RS	7.	RS
8.	CS	8.	CS
9.	CI	9.	CI

メモ

• 使用するコントロール機器(コンピュータなど)によってはピン4とピン6を接続する必要があります。

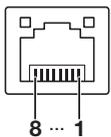
プロジェクターの
ピン番号

- 4
- 5
- 6

コンピュータの
ピン番号

- 4
- 5
- 6

LAN端子:8ピンRJ-45モジュラコネクタ



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1.	TX+	5.	
2.	TX-	6.	RX-
3.	RX+	7.	
4.		8.	

RS-232C 仕様とコマンドの設定

コンピュータによるプロジェクターの制御

コンピュータをRS-232Cシリアル制御ケーブル(クロスタイプ、市販品)でプロジェクターに接続すると、コンピュータでプロジェクターを操作できます。(23ページをご覧ください。)

通信条件

コンピュータのシリアルポートを、次のように設定します。

信号形式:RS-232C規格に準拠

パリティビット:なし

ボーレート:9,600 bps

ストップビット:1ビット

データ長8ビット

フロー制御:なし

基本形式

コンピュータからのコマンドは、コマンド、パラメータ、リターンコードの順に送ってください。プロジェクターがコンピュータからのコマンドを処理すると、コンピュータにレスポンスコードを送ります。

コマンド形式

レスポンスコード形式



通常のレスポンス

O	K	リターンコード(ODH)
---	---	--------------

問題のあるレスポンス(通信エラーや不正なコマンド)

E	R	R	リターンコード(ODH)
---	---	---	--------------

お知らせ

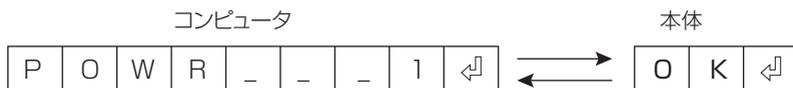
- コンピュータからRS-232Cコマンドを使ってプロジェクターを制御している場合は、電源を入れた後、30秒以上待ってからコマンドを送信してください。
- 入力切換コマンドを送信し、OKのレスポンスコードを受信した際は次のコマンドは5秒以上の間隔を空けてから送信してください。最初のコマンドを処理している最中に2番目のコマンドを送った場合、ERRというコードが返ってきます。この状態になった場合は、2番目のコマンドを再送信してください。
- 複数のコードを送信する場合には、前のコマンドのレスポンスコードがプロジェクターで確認されたあと、次のコマンドを送信してください。

メモ

- パラメータの列でアンダーバー(_)のところには、スペースを入力します。

コンピュータによるプロジェクターの制御

例: プロジェクターの電源を入れる場合



制御する内容		コマンド	パラメータ	リターン	
				電源オン状態	電源スタンバイ状態
電源	オン	P O W R _ _ _ 1	OK	OK	
	オフ	P O W R _ _ _ 0	OK	OK	
	電源の状態	P O W R ? ? ? ? 1		0	
光源	使用時間(時)	T L T T _ _ _ 1	(整数)	ERR	
入力切換	コンピュータ	I R G B _ _ 1 1	OK または ERR	ERR	
	HDMI1	I R G B _ _ 3 1	OK または ERR	ERR	
	HDMI2	I R G B _ _ 3 2	OK または ERR	ERR	
	S-VIDEO	I V E D _ _ 2 1	OK または ERR	ERR	
	VIDEO	I V E D _ _ 2 2	OK または ERR	ERR	
	入力の確認	I C H K ? ? ? ?	11:コンピュータ 31:HDMI1 32:HDMI2 21:S-VIDEO 22:VIDEO	ERR	
音量	音量を上げる	V O U D _ _ _ 1	OK または ERR	ERR	
	音量を下げる	V O U D _ _ - 1	OK または ERR	ERR	
	ステータス	V O U D ? ? ? ?	0 - 20 (整数)	ERR	
AVミュート	オン	I M B K _ _ _ 1	OK または ERR	ERR	
	オフ	I M B K _ _ _ 0	OK または ERR	ERR	
	ステータス	I M B K ? ? ? ?	0:オフ、1:オン	ERR	
静止画	オン	F R E Z _ _ _ 1	OK または ERR	ERR	
	オフ	F R E Z _ _ _ 0	OK または ERR	ERR	
	ステータス	F R E Z ? ? ? ?	0:オフ、1:オン	ERR	

PJLink プロトコルを使ったプロジェクターの操作

本製品は、PJLink標準クラス1に適合し、クラス1の全コマンドに対応しています。
PJLinkプロトコルでプロジェクターを制御するときに使うコマンドは以下に示した通りです。

制御する内容		コマンド								リターン
電源	オフ	P	O	W	R	_	0			OK または ERR
	オン	P	O	W	R	_	1			OK または ERR
電源の状態確認		P	O	W	R	_	?			0:待機状態 1:入 2:待機(冷却中) 3:入(起動中)
入力切換リストの状態確認		I	N	S	T	_	?			1 1 21 22 31 32
入力切換	コンピュータ	I	N	P	T	_	_	1	1	OK または ERR
	HDMI1	I	N	P	T	_	_	3	1	OK または ERR
	HDMI2	I	N	P	T	_	_	3	2	OK または ERR
	S-VIDEO	I	N	P	T	_	_	2	1	OK または ERR
	VIDEO	I	N	P	T	_	_	2	2	OK または ERR
入力状態の確認		I	N	P	T	_	?			1 1:コンピュータ 3 1:HDMI1 3 2:HDMI2 2 1:S-VIDEO 2 2:VIDEO または ERR
AVミュート	オン	A	V	M	T	_	3	0		OK または ERR
	オフ	A	V	M	T	_	3	1		OK または ERR
AVミュートの状態確認		A	V	M	T	_	?			3 0:オフ 3 1:オン または ERR
光源の確認		L	A	M	P	_	?			最初の数字:光源使用時間 2番目の数字:0:光源がオフ 1:光源がオン
エラー状態の確認		E	R	S	T	_	?			1バイト目:ファンのエラー状態 2バイト目:光源のエラー状態 3バイト目:温度のエラー状態 4バイト目:未使用、リターン:0 5バイト目:未使用、リターン:0 6バイト目:その他のエラー状態 0:エラー無し 2:エラー発生
プロジェクター名の確認*		N	A	M	E	_	?			SHARPPJ
製造元の確認		I	N	F	1	_	?			SHARP
製品名の確認		I	N	F	2	_	?			Not Used
その他の情報の確認		I	N	F	0	_	?			Not Used
クラス情報の確認		C	L	S	S	_	?			1

* 69ページにある「ネットワークの設定」の「SysName」で設定することができます。

PJLink認証:

PJLink用に使用するパスワードは「ネットワークの設定」で設定したものと同じです。(69ページ)認証なしにする場合は、管理者設定を「Disable」に設定します。

PJLink対応:

この製品はPJLink標準クラス1と全てのクラス1のコマンドの実行に準拠します。

この製品はPJLinkバージョン1.00の標準仕様で承認されています。

さらに情報が必要な場合は「<http://pjlink.jbmia.or.jp/index.html>」をご覧ください。

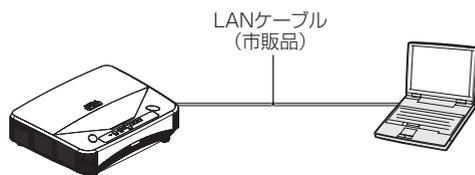
本機のネットワーク設定をする

ここでは、本機をネットワーク経由で使用するための基本的な設定方法について説明します。すでにネットワークが構築されている場合は、決められた値を設定しなければならないことがありますので、ネットワーク管理者にご相談ください。ネットワーク設定はプロジェクターとコンピュータの両方で行うことができます。下記手順はコンピュータによる設定となります。

コンピュータを使って本機のネットワーク設定をする

1. 本機とコンピュータを接続する

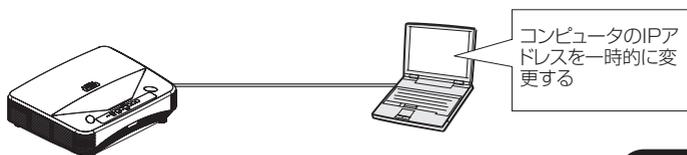
本機と設定用コンピュータをLANケーブル(カテゴリー5、クロスタイプ)を使用して接続します。



➡ 65ページ

2. コンピュータの IP アドレスを設定する

設定用コンピュータのIPアドレスを変更して、本機と1対1で接続します。



➡ 66、67ページ

3. 本機のネットワーク設定をする

本機をネットワークに接続するための設定をします。



➡ 67ページ

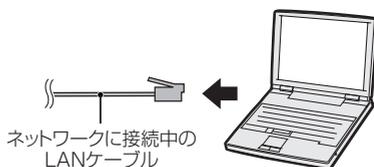
📖 お知らせ

- ハブに本機を接続する場合には、ストレートタイプのカテゴリー5ケーブルを使用してください。
- 以下のブラウザが対応しています。
 - Internet Explorer 11またはそれ以降

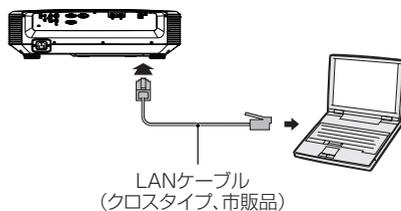
設定1.本機とコンピュータを接続する

プロジェクターとコンピュータを1対1で接続します。市販のLANケーブル(UTPケーブル、カテゴリー5、クロスタイプ)を使用してコンピュータ経由でプロジェクターを設定することができます。

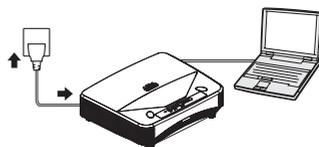
- 1 設定用コンピュータのLANケーブルを抜き、使用中のネットワークから外す



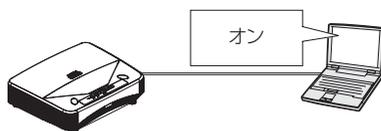
- 2 本機のLAN端子に市販のLANケーブル(UTPケーブル、カテゴリー5、クロスタイプ)を接続し、もう一方をコンピュータのLAN端子に接続する



- 3 電源コードをプロジェクターのAC電源ソケットに接続します



- 4 コンピュータの電源を入れる



お知らせ

本機背面のLINK LEDが点灯することをご確認ください。LINK LEDが点灯しない場合は、下記をご確認ください。

- LANケーブルが正しく接続されていること
- 本機とコンピュータの電源が入っていること

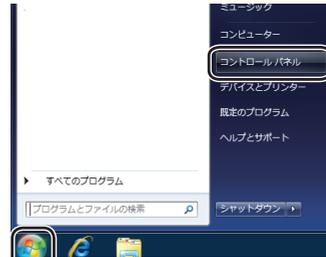
これで、接続は完了です。次の「設定2. コンピュータのIPアドレスを設定する」へお進みください。

設定2.コンピュータのIPアドレスを設定する

ここではWindows 7®を例に説明しています。

1 コンピュータの管理者のアカウントでログオンする

2 [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックする



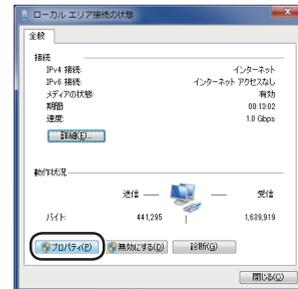
3 [ネットワークとインターネット]の [ネットワークの状態とタスクの表示] をクリックし、開いたウィンドウの中にある [状態の表示] をクリックする

- ここでは、カテゴリ表示で説明しています。クラシック表示でご使用の場合は[ネットワークと共有センター]をダブルクリックします。



4 [プロパティ(P)] をクリックする

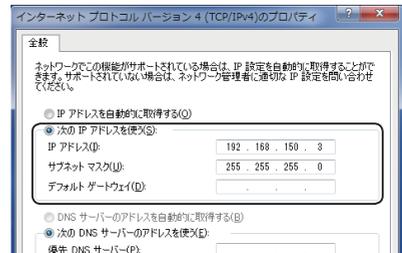
- ここでユーザーアカウント制御画面が表示される場合がありますが、[続行(C)]をクリックします。



5 [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] をクリックし、[用パティ(R)] ボタンをクリックする



6 設定用コンピュータのIPアドレスを確認・変更する



7 設定したら [OK] ボタンをクリックし、コンピュータを再起動する

設定3.本機のネットワーク設定をする

本機のIPアドレスやサブネットマスクなどを、ご使用のネットワークに合わせて設定します。
本機のIPアドレスやサブネットマスクなどは、次のように設定します。
(ネットワーク設定については51ページをご覧ください)

本機を LAN 経由で制御する

本機をお使いのネットワークに接続した後、ネットワーク内のコンピュータで本機のIPアドレスを Internet Explorer (バージョン 11 以降) のアドレス欄に入力すると、設定画面が起動でき、ネットワーク経由でのコントロールが可能になります。

Internet Explorer (バージョン 11 以降) でコントロールする

操作を始める前に、外部機器との接続を済ませておいてください。
(詳しくは20ページをご覧ください。)

また、電源コードの接続も済ませておいてください。

1 コンピュータの Internet Explorer を起動する

2 「アドレス (D)」に「http://」に続けて設定したプロジェクターの IP アドレスと「/」を入力し、「Enter」キーを押す

3 右の画面が表示されたら、次のように入力する

- 初期パスワード : 0000

4 プロジェクターを制御するための画面が表示されたら、各種の状態確認・制御・設定を行う

User Name	Administrator
Password	<input type="password"/>
<input type="button" value="Login"/>	

Network	Password	SNMP
<input type="checkbox"/> DHCP * Manual	Administrator * Enable	System Location <input type="text" value="LOCATION"/>
IP Address <input type="text" value="192.168.150.2"/>	<input type="checkbox"/> Disable	System Name <input type="text" value="SHRPPJ"/>
Subnet Mask <input type="text" value="255.255.255.0"/>	New Password <input type="password" value="****"/>	System Contact <input type="text" value="CONTACT"/>
Gateway <input type="text" value="192.168.150.1"/>	Confirm Password <input type="password" value="****"/>	
DNS Server <input type="text" value="192.168.150.1"/>		
<input type="button" value="Submit"/>	<input type="button" value="Submit"/>	<input type="button" value="Submit"/>

ネットワークの設定をする

ネットワーク設定

ネットワーク設定画面が出ると、本体のネットワーク設定の準備が完了しています。

項目	設定例・備考
DHCP Client (DHCPクライアント)	「DHCP」:DHCPクライアントを使用する 「Manual」:DHCPクライアントを使用しないで、手動で設定する
IP Address (IPアドレス)	DHCPクライアントが「Manual」になっているときこの項目を設定できます。 出荷設定値: 0.0.0.0 ネットワークに適したIPアドレスを入力します。
Subnet Mask (サブネットマスク)	DHCPクライアントが「Manual」になっているときこの項目を設定できます。 出荷設定値: 0.0.0.0 コンピュータやネットワーク上の機器と同じサブネットマスクを設定します。
Gateway (ゲートウェイ)	DHCPクライアントが「Manual」になっているときこの項目を設定できます。 出荷設定値:0.0.0.0 使用しない場合は「0.0.0.0」に設定してください。
DNS Server (DNSサーバー)	出荷設定値:0.0.0.0 使用しない場合は「0.0.0.0」に設定してください。

項目	設定例・備考
Administrator (管理者)	「Enable」(有効)または「Disable」(無効)を選択してセキュリティ保護を使用するかどうか決定します。
Password (パスワード)	セキュリティ保護用のパスワードを設定する (4文字以内)
SysLocation (SNMP用)	SNMP用の設置場所を設定する (22文字以内)
SysName (SNMP用)	SNMP用の装置名を設定する (22文字以内)
SysContact (SNMP用)	SNMP用の連絡先を設定する (22文字以内)

メモ

- 各設定値について詳しくは、ネットワーク管理者にご相談ください。

エラー発生時にメールを送信するための設定をする

メールアラート

この画面では、プロジェクターがエラーを起こしたときに送信されるメールについての設定を行うことができます。

Email Setting (メール設定)

項目	内容
To Cc (通知先)	エラー通知メールを送信するメールアドレスを設定します。 (40文字以内)
Subject (タイトル)	エラー通知メールのタイトルを設定します。
From (発信元)	プロジェクターのメールアドレスを設定します。ここで設定したアドレスは、発信元のメールアドレスになります。 (40文字以内)

Alert Condition (アラート条件)

項目	内容
Fan Error (ファンエラー) Light Error (光源エラー) Temperature Error (温度エラー)	チェックボックスにチェックマークを入れたエラー項目についてエラー通知メールを発信します。
Issue Test Mail (テストメール送信)	テストメールを送信します。メール送信に関する設定が正しくされているかどうかを確認することができます。

SMTP Setting (SMTP設定)

項目	設定例・備考
Server (サーバー)	メール送信用のSMTPサーバーアドレスを設定します。 (30文字以内) 例1:192.168.150.253 例2:smtp123.sharp.co.jp *ドメイン名を使用する場合はDNSサーバーの設定も行ってください。
User Name (ユーザー名)	メール送信用のSMTPサーバーのユーザー名を設定します。 (40文字以内)
Password (パスワード)	メール送信用のSMTPサーバーのパスワードを設定します。 (14文字以内)

Crestron RoomView® をつかってプロジェクターを制御する

Crestron Roomview®について

Crestron RoomViewはクレストロン社が提供する統合制御システムであり、ネットワークに接続された複数のプロジェクターを制御、調整することができます。

このプロジェクターは上記の制御システムに対応しておりますので、Crestron RoomViewが提供するシステムに対応しております。

詳しくはCrestron社のウェブサイトをご覧ください。(英語表示のみとなります。)

<http://www.crestron.com>

Crestron RoomViewの主な特徴は以下の通りです

- ウェブブラウザを使用した遠隔操作

リモコンで制御するようにコンピュータからプロジェクターを制御することができます。

- ソフトウェアアプリケーションを使用した制御、調整

クレストロン社から提供されるソフトウェアアプリケーション(Crestron RoomView Express/Crestron RoomView Sever Edition)を使用することで、調整やヘルプデスクとの連絡、緊急時にメッセージを送信することができます。詳しくは、下記を参照してください。

<http://www.crestron.com/getroomview>

本書はウェブブラウザからプロジェクターを制御する方法を説明しています。



メモ

- ・文字入力には英数字のみ使用できます。

ウェブブラウザを使った制御

コントロールメニューの表示

操作前に以下の内容を確認してください。

- ・プロジェクターとコンピュータの両方がネットワークに接続されていること
- ・プロジェクターネットワーク環境の設定(69ページ)

1 コンピュータのウェブブラウザを操作する

2 ウェブブラウザでプロジェクターのIPアドレスを入力し、ENTERを押す

3 「Crestron e-Control」ボタンをクリックする

- ・コントロールメニューの使い方

コントロールメニューの使い方



1. 各ボタンをクリックすることで下記の機能を操作します。

ボタン	機能
Power(電源)	電源を入れたり、本体を待機状態にします
Vol-/Vol+	スピーカの音量を調整します
AV Mute (AVミュート)	一時的に黒い画面を表示して音量を消します

2. ソースをクリックすることで入力モードを変更します。使用される入力信号は青色で表示されます。

3. 各ボタンをクリックすることで下記の機能を操作します。

ボタン	機能
Contrast (コントラスト)	コントラストを調整します。
Bright (明るさ)	明るさを調整します。
Sharpness (シャープネス)	シャープネスを調整します。
Freeze (静止画)	投映中の画像を静止画にする

4. リモコンの▲/▼/◀/▶ボタンと同じように ▲/▼/◀/▶ボタンが作動します。その他のボタンについては、下記をご覧ください。

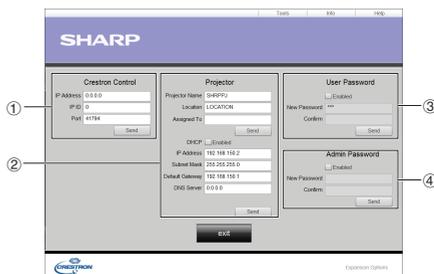
ボタン	機能
Enter	メニュー上にある選択または調整された項目を設定します。
Menu	調整、設定画面を表示します。
Autosync	コンピュータに接続しているときに自動的に画像を調整します。
Resize	画面サイズを切り換えます (標準、16:9など)
Return	メニュー操作中に前のメニュー画面に戻ります。

5. 各タブをクリックして以下の操作を行います。

タブ	機能
Contact IT Help (ヘルプデスク)	ヘルプデスクのウィンドウが表示され、Crestron RoomView Express をお使いの管理者へのメッセージを送受信することができます。
Info (情報)	接続されたプロジェクターの情報を表示します。
Tools (ツール)	接続されたプロジェクターの設定を変更します。次のセクションを参照してください。

ツールメニューの使い方

・コントロールメニューのツールタブをクリックすると以下のように表示されます。接続されたプロジェクターの設定を変更することができます。



1. Crestron Control

Crestron central controlの設定をします。

2. Projector

プロジェクターの設定をします。

項目	機能
Projector Name (プロジェクター名)	プロジェクターの名前を変更できます。(22文字以内)
Location (設置場所)	配置場所の名前を変更することができます。(22文字以内)
Assigned To (割り当て先)	プロジェクターのユーザーを変更することができます。(22文字以内)
DHCP (DHCPクライアント)	DHCPをお使いの際は、「有効」をクリックしてください。チェックされている場合、下記のアドレス設定は無効になります。
IP Address (IPアドレス)	プロジェクターのIPアドレスを設定します。
Subnet Mask (サブネットマスク)	プロジェクターのサブネットマスクを設定します。
Gateway (ゲートウェイ)	プロジェクターのゲートウェイを設定します。
DNS Server (DNSサーバー)	プロジェクターのDNSサーバーを設定します。
Send (設定送信)	クリックするとこのプロジェクターのメニューに設定された内容が固定されます。

3. User Password

パスワードでコンピュータのコントロールメニューをロックするには、「有効」にチェックを入れます。

以下の項目を設定します。

項目	機能
New Password (新パスワード)	新しいパスワードを入力して、コントロールメニュー用のパスワードを変更します。(15文字以内)
Confirm (確認用パスワード)	「新しいパスワード」に設定したパスワードを入力します。正しくない場合、エラーが表示されます。
Send (設定送信)	クリックして設定した管理パスワードを固定します。

4. Admin Password

パスワードでツールメニューをロックするには、「有効」にチェックを入れます。以下の項目を設定します。

項目	機能
New Password (新パスワード)	新しいパスワードを入力して、ツールメニュー用のパスワードを変更します。(15文字以内)
Confirm (確認用パスワード)	「新しいパスワード」に設定したパスワードを入力します。正しくない場合、エラーが表示されます。
Send (設定送信)	クリックして設定した管理パスワードを固定します。

お手入れのしかた

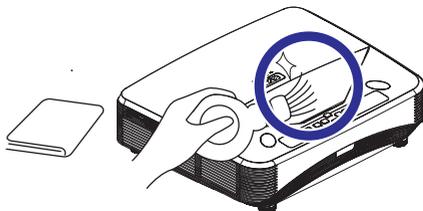
キャビネットの手入れのしかた

- キャビネットを手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。
- キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふくと変質したり、塗料がはげることがありますのでご使用にならないでください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- 汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。
- 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。



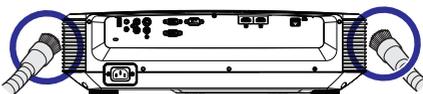
投映窓の手入れのしかた

- 投映窓の清掃は、市販のプロワーやレンズクリーニングペーパー（メガネやカメラなどの清掃に使用）で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。
- 表面は傷つきやすいのでこすったり、たいたたりしないでください。



排気孔や吸気孔の手入れのしかた

- 排気孔や吸気孔の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。



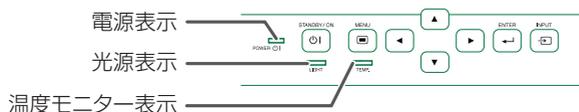
お知らせ

- ・ プロジェクターの動作中に通風孔の掃除を行う場合は、本体の**STANDBY/ON**またはリモコンの**STANDBY**を押して電源を待機状態にした後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。

お知らせ表示について

- 本機では、内部の異常をお知らせ表示(電源表示、光源表示、温度モニター表示)が点灯してお知らせします。
- 内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニター表示もしくは光源表示が点灯もしくは点滅し電源が待機状態になります。以下の処置を行ってください。

本体天面



温度モニター機能について

設置状況や通風孔の目づまり等により内部温度が高温になると、ファンの速度が速くなります。さらに温度が上昇すると、光源が消灯し温度モニター表示が点滅、ファン冷却後、待機状態になります。温度モニター表示が点滅している場合、**76ページ**の表の内容に従い処置してください。

本体のお知らせ表示について

電源表示	オレンジ色点灯	スタンバイ中です
	緑色点灯	電源「入」の状態です
	緑色点滅	光源起動中
	オレンジ色点滅	冷却中です
	オレンジ色点滅(高速)	異常があります(76ページ)
光源表示	消灯	正常
	赤色点灯	光源が正常に起動(点灯)しないときです。(76ページ)
温度モニター表示	消灯	正常
	赤色点滅	内部温度に異常があります。(76ページ)



メモ

- ・プロジェクターが待機状態になると、異常な状態を示したお知らせ表示は消えます。

	お知らせ表示		現象	考えられる原因	処置のしかた
	正常	異常			
温度モニター表示	消灯	赤色点滅	内部温度に異常があります。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の周囲の温度が高い 通風孔がふさがれている 	<ul style="list-style-type: none"> 35度以下の場所でお使いください。 正しい設置場所に設置してください。(7ページ)
				<ul style="list-style-type: none"> 冷却ファンの故障 内部回路の故障 内部通風孔の目づまり 	<ul style="list-style-type: none"> 販売店、またはもよりのシャープ修理相談センターに修理を依頼してください。
光源表示	消灯	赤色点灯	光源が正常に起動(点灯)しない	<ul style="list-style-type: none"> 光源故障 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで電源を入れてください。 販売店、またはもよりのシャープ修理相談センターに修理を依頼してください。
電源表示	緑色点灯／ 緑色点滅 オレンジ色 点灯／ オレンジ色 点滅	オレンジ色 点滅 (高速)	プロジェクターが起動しない	<ul style="list-style-type: none"> 冷却ファンが止まっている 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで電源を入れてください。 販売店、またはもよりのシャープ修理相談センターに修理を依頼してください。

お知らせ

- 温度モニター表示が点滅し、電源が待機状態になったときは、処置を行った後、再度電源を入れてください。再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。(10分以上)
- プロジェクターを使用しているときに、停電などで一瞬電源が切れた直後に電源が復旧した場合、光源表示が赤色点灯し、光源が点灯しなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、再度電源を入れ直してください。
- 冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているためで、故障ではありません。

入力信号（推奨信号）について

コンピュータ

- ・ 水平周波数:15~90kHz,
垂直周波数:50~85Hz,
ドットクロック:12~165MHz

モード	解像度		垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)	アナログ サポート	デジタル サポート	3Dモード				
							自動	トップアンド ボトム	フレームシ ークンシャル	フレームバ ッキング	サイドバイ サイド
PC	VGA	640 x 480	60.0	31.47	✓	✓					
			72.0	37.86	✓	✓					
			75.0	37.50	✓	✓					
			85.0	43.27	✓						
	SVGA	800 x 600	60.0	37.88	✓	✓		✓	✓		✓
			72.0	48.08	✓	✓					
			75.0	46.88	✓	✓					
			85.0	53.67	✓						
	XGA	1024 x 768	60.0	48.36	✓	✓		✓	✓		✓
			70.0	56.48	✓	✓					
			75.0	60.02	✓	✓					
			85.0	68.67	✓						
	WXGA	1280 x 720	60.0	44.80	✓	✓		✓	✓		✓
		1280 x 768	60.0	47.78	✓	✓					
		1280 x 800	60.0	49.60	✓	✓		✓	✓		✓
		1360 x 768	60.0	47.71	✓	✓					
	WXGA+	1440 x 900	60.0	55.90	✓						
	SXGA	1280 x 1024	1152 x 864	75.0	67.50	✓					
			60.0	63.98	✓	✓					
			75.0	79.98	✓	✓					
	1280 x 960	60.0	60.0	✓	✓						
SXGA+	1400 x 1050	60.0	65.32	✓	✓						
WSXGA+	1680 x 1050	60.0	65.30	✓							
	1920 x 1080	60.0	67.50	✓	✓		✓	✓		✓	
UXGA	1600 x 1200	60.0	75.00	✓							
MAC 13"	VGA	640 x 480	66.6	35.00	✓						
MAC 16"	SVGA	832 x 624	74.5	49.70	✓						
MAC 19"	XGA	1024 x 768	75.0	60.30	✓						
MAC 21"	SXGA	1152 x 870	75.0	68.68	✓						

DTV

モード	信号		垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)	アナログサポート	デジタルサポート
DTV Signal	480i	720 x 480i	59.9	15.70	✓	
	576i	720 x 576i	50.0	15.60	✓	
	480p	720 x 480	59.9	31.50	✓	✓
	576p	720 x 576	50.0	31.60	✓	✓
	720p	1280 x 720	60.0	45.00	✓	✓
			50.0	37.50	✓	✓
	1080i	1920 x 1080i	60.0	33.80	✓	✓
			50.0	28.10	✓	✓
	1080p	1920 x 1080	24.0	27.00		✓
			60.0	67.50	✓	✓
50.0			56.30	✓	✓	

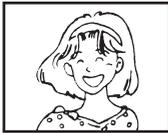
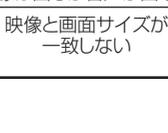
3Dモード				
自動	トップアンドボトム	フレームシーケンシャル	フレームバッキング	サイドバイサイド
	✓	✓		✓
	✓			✓
				✓
				✓
	✓			✓
	✓	✓		✓
	✓			✓

3D

モード	信号		垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)	アナログサポート	デジタルサポート
フレームバッキング	720p	1280 x 720	50.0	75.00		✓
			60.0	90.00		✓
	1080p	1920 x 1080	24.0	54.00		✓
トップアンドボトム	720p	1280 x 720	50.0	37.50		✓
			60.0	45.00		✓
	1080p	1920 x 1080	24.0	27.00		✓
サイドバイサイド	1080i	1920 x 1080i	50.0	28.10		✓
			60.0	33.80		✓

3Dモード				
自動	トップアンドボトム	フレームシーケンシャル	フレームバッキング	サイドバイサイド
✓			✓	
✓			✓	
✓			✓	
✓	✓			
✓	✓			
✓	✓			
✓				✓
✓				✓

故障かな?と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 <p>映像も音声も出ない、またはプロジェクターが始動しない</p>	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	25
	・接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	-
	・表示させる画面の選択（入力モード）がまちがっていませんか。	31
	・プロジェクターの配線は、正しく接続されていますか。	20~25
	・リモコンの乾電池が消耗していませんか。	14
 <p>音声は出るが映像が出ない（暗い）</p>	・ノート型コンピュータを接続しているとき、外部出力状態に設定されていませんか。	20
	・プロジェクターの配線は、正しく接続されていますか。	20~25
 <p>色があい、色あいが悪い</p>	・映像調整の「明るさ」が「-（マイナス）」側いっぱいになっていませんか。	41
	・お使いのコンピュータによっては、コンピュータの出力信号を外部出力に切り換えないと映像が表示されない場合があります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。 ・3D 視聴モードになっていませんか。 ・内部温度が上昇すると、冷却ファンの回転が早くなります。このような状態が続くと、画面が暗くなる可能性があります。	- 57 8, 75, 76
 <p>映像がボヤける ノイズが発生する</p>	・映像調整は、正しく調整されていますか。 ・「メニュー」→「映像調整」→「色あい」または「色の濃さ」を調整するか、「BrilliantColor TM 」の値を下げてください。	41
	・レンズのフォーカス（ピント）は合っていますか。	27
 <p>映像は出るが音声が出ない</p>	・投映距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	19
	・レンズが結露していませんか。寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる 1 時間くらい前に、使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、電源コードをコンセントから抜いてしばらくそのまま放置してください。	-
 <p>映像と画面サイズが一致しない</p>	〈コンピュータ入力するとき〉 ・同期調整（クロック調整、位相調整）を行ってください。 ・コンピュータによってはノイズが発生することがあります。	40 -
	・プロジェクターの配線は、正しく接続されていますか。	20~25
 <p>映像は出るが音声が出ない</p>	・音量が最小になっていませんか。 ・外部機器と接続しているとき、本機の音量が最小になっていると外部機器の音量を上げても音声がでません。	31
	・お使いのコンピュータによっては、設定した解像度と異なる信号が出力される場合があります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。	-

こんなとき	ここをお調べください	ページ
キャビネットから時々「ピシッ」と音がする	・画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です性能その他に影響はありません。	-
お知らせ表示(光源表示)が赤点灯する	・「お知らせ表示について」をご覧ください。	75
HDMIのコンポーネントモードで画面が緑がかる	・入力信号タイプが正しく設定されていますか。	42
HDMIのコンポーネントモードで画面がピンクがかる		
映像が明るすぎて白っぽくなる	・映像調整は、正しく調整されていますか。	41
ファンの音が大きくなる	・内部温度が上昇し、冷却するためファンの回転が早くなるためです。	8、75、76
電源を入れても光源が点灯しない	・光源表示が赤色点灯していませんか。	75
使用中に突然光源が消灯した		
映像が時々ちらつくことがある	・接続状態や接続機器に問題はありませんか。	20~25
リモコンで操作できない	・リモコンの発信部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか。 ・プロジェクターから離れすぎていませんか。 ・リモコンの受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。	14
	・リモコンの乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか。新しい乾電池を正しい向きでセットしてください。	14

こんなとき	ここをお調べください	ページ
3D映像を部屋の中で見るときにチラつく	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視界の中に蛍光灯や周辺光が入ると、映像がちらつくことがあります。 - 蛍光灯などを消してください。 - 周辺の光源をさえぎってください。 	-
3D映像にゴースト(二重像)が現れる	<ul style="list-style-type: none"> ・ DLP® Link™システムに対応した3Dメガネを使用していることを確認してください。 - DLP® Link™システムに対応した3Dメガネを必ず使用してください。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3Dメガネのシャッター部分が正しく作動していることを確認してください。 - 3Dメガネの電源を切り、もう1度入れます。 - 3Dメガネの電源が切れていませんか。 - 3Dメガネが3D視聴モードに設定されていることを確認してください。 3Dメガネによっては標準の3D視聴モードに加えて、特別な視聴モード(「デュアルモード」など)が備わっているものもあります。お手持ちの3Dメガネの取扱説明書をご覧ください。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクターの設定を確認する - 3Dモードの設定を確認してください。 - 「3D同期反転」を使って、設定を変更してください。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対応していない信号が出力されていないかどうか確認してください。 - 3Dアプリケーションを適切な解像度とリフレッシュレートで設定してください。 3Dに対応した解像度で3Dアプリケーションを実行していることを確認してください。3Dアプリケーションが本機の正しい設定で実行するように設定されなければいけません。 対応した信号について詳しくは、RGB入力信号(推奨信号)についての「3D対応信号」をご覧ください。 	78
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機をコンピュータに接続して3D映像の再生を行う場合は、3D映像用アプリケーションソフトウェアが使用されているかを確認してください。 - 3D映像用アプリケーションソフトウェアを使用してください。 - フィールドシーケンシャル形式に適應可能なソフトウェアを設定してください。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画面と3Dメガネとの間に障害物がないことを確認してください。 - 障害物を置かないようにしてください。 障害物があると、正しく機能しないことがあります。3Dメガネの受信部が何かでさえぎられていませんか。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺に光源がないかどうか確認してください。 - 遮光または電源をお切りください。 強い光があると、3Dメガネと画面間の通信が妨げられ、ちらつきが発生します。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数のプロジェクターから同時に投射すると、3D映像にならない場合があります。 - プロジェクターは1台単独で使用するようにしてください。 	-

こんなとき	ここをお調べください	ページ
ユーザー名やパスワードを忘れてしまい、ウェブブラウザに接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定内容を初期化してください。 ・ 初期化後、再度設定をしてください。 	53
Windows 10でInternet Explorerを始められない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 10 での Internet Explorer の始めかた 1. タスクバーにある検索ボックスをクリックする。 2. 検索ボックスに「Internet Explorer」と入力する。 3. 検索結果から「Internet Explorer」をクリックする。 	-

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの妨害ノイズや誤った操作により、正常に動作しない事があります。正常に動作しない時は、一度、電源プラグをコンセントから抜き、約5分以上おいてから再びコンセントに差し込んで電源を入れ直してください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れなどのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、ご購入の販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

※電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。



使いかたのご相談など

弊社製品が接続されているシステムの使いかたなどは、ご購入の販売店・営業担当にお問い合わせください。

シャープ株式会社

ビジネスソリューション事業本部
ビジュアルソリューション事業部
国内営業部サポートセンター

0120-571002

フリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は、
電話：03-5446-8153

受付時間 月曜～金曜：9:00～17:00(土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。)



修理のご相談など

【修理ご相談窓口】(沖縄地区を除く)

シャープビジネスソリューション株式会社



0570-00-5008

(●全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。)
(●携帯電話からもご利用いただけます。)

■PHS・IP電話をご利用の方は…
06-6794-9676

■沖縄地区の方は…
沖縄シャープ電機株式会社 098-862-2231
(月曜～金曜：9:00～17:00)
(土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。)

受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40(日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。)



持込修理や部品購入のご相談は、下記窓口でも承っております。

地区	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道	札幌技術センター	(011)641-0751	063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北	仙台技術センター	(022)288-9161	984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
	福島技術センター	(024)959-1421	963-0547	郡山市喜久田町卸3-27-2
	北東北技術センター	(019)638-6085	020-0891	岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1
関東	新潟技術センター	(025)284-6023	950-0965	新潟市中央区新光町9番2
	宇都宮技術センター	(028)634-0256	320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	前橋技術センター	(027)252-7311	371-0855	前橋市問屋町1-3-7
	水戸技術センター	(029)243-0909	310-0851	水戸市千波町1963
首都圏	東京フィールドサポート部 ビジネスシステム技術担当	(03)6404-4123	143-0006	東京都大田区平和島4-1-23
中部	名古屋第1技術センター	(052)332-2758	454-0011	名古屋市中区山王3-5-5
	三重技術センター	(059)231-1573	514-0131	津市あつた4-6-4
	静岡技術センター	(054)344-5621	424-0067	静岡市清水区鳥坂1170-1
	長野技術センター	(026)293-6360	388-8014	長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1
	金沢技術センター	(076)249-9033	921-8801	石川県野々市市御経塚4-103
近畿	大阪フィールドサポート部	(06)6794-9671	547-8510	大阪市平野区加美南3-8-25
	京都技術センター	(075)681-9551	601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	神戸技術センター	(078)795-6336	654-0161	神戸市須磨区弥栄寺3-15-2
中四国	広島技術センター	(082)874-6100	731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
	岡山技術センター	(086)292-5830	701-0301	都窪郡早島町大字矢尾828
	高松技術センター	(087)823-4980	760-0065	高松市朝日町6-2-8
	高知技術センター	(088)883-7039	781-8104	高知市高須1-14-43
	松山技術センター	(089)973-0121	791-8036	松山市高岡町178-1
	九州	福岡技術センター	(092)572-2617	812-0881
	熊本技術センター	(096)237-5353	861-3107	上益城郡嘉島町上仲間227-78
	鹿児島技術センター	(099)259-0628	890-0064	鹿児島市鴨池新町12-1

●沖縄地区については、沖縄シャープ電機株式会社にお問い合わせください。

沖縄シャープ電機株式会社

<受付時間>月曜～金曜：9:00～17:00(土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。)

沖 縄	沖縄シャープ電機(株)	(098)862-2231	900-0002	那覇市曙2-10-1
-----	-------------	---------------	----------	------------

※所在地・電話番号・受付時間などは変わることがあります。(2017.7)

アフターサービスについて

■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間はお買いあげの日から1年間です。保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。

修理の際の取り外し、再設置に要する費用は別途お客様負担となります。

製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

■ 補修用性能部品について

当社は、本製品の補修用性能部品を製造打切後、7年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

■ 修理を依頼されるときは(出張修理)

先に「故障かな?と思ったら」(79ページ)をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

ご連絡していただきたい内容

- 品名:マルチメディアプロジェクター
- 形名:PG-LU400Z
PG-LU300Z
(取り付けている別売品があれば、その形名も連絡ください。)
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけ具体的に)
- ご住所(付近の目印も併せてお知らせください。)
- お名前
- 電話番号
- ご訪問希望日

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

仕様

形名	PG-LU400Z		PG-LU300Z
表示方式	0.65型DLP® チップx1 アスペクト比16:9		
有効画素数	2,073,600画素(1,920 x 1,080)		
レンズ	ズーム	-	
	フォーカス	手動	
光源	レーザーダイオード		
画像サイズ(投写距離)	80~150型(約38.6~75.8 cm)		
明るさ*1	4,000lm*2	3,000lm*2	
コントラスト比(全白:全黒)	12,000:1*3		
スピーカ	10W x 1		
対応走査周波数	水平周波数	15 - 90kHz	
	垂直周波数	24Hz, 50~85Hz	
表示解像度	コンピュータ信号入力	UXGA / WSXGA+ / SXGA+ / SXGA / WXGA+ / WXGA / XGA / SVGA / VGA	
		Mac 21" / 19" / 16" / 13"	
	ビデオ信号入力	1080p / 1080i / 720p / 576p / 576i / 480p / 480i NTSC / PAL / SECAM	
入力端子	HDMI	2系統(3D対応)	
	コンピュータ/コンポーネント(ミニD-sub 15ピン)	1系統	
	S-ビデオ(ミニDIN4ピン)	1系統	
	ビデオ(RCA)	1系統	
	音声(φ3.5mmステレオミニジャック)	1系統	
	音声(RCA)	1系統	
出力端子	コンピュータ/コンポーネント(ミニD-sub 15ピン)	1系統	
	音声出力(φ3.5mmステレオミニジャック)	1系統	
	USB(DC5V出力)	1系統	
	制御入出力端子	1系統	
騒音	RS-232C端子(D-sub 9ピン)	1系統	
	LAN(RJ-45)	1系統	
騒音	37dB(エコ+静音モード:入時)	33dB(エコ+静音モード:入時)	
使用温度範囲*4	0℃~35℃(結露なきこと)		
電源	定格電圧	AC100V	
	定格周波数	50 / 60Hz	
最大消費電力	467W	370W	
待機時消費電力	LANコントロール:切時	0.3W	
	LANコントロール:入時	2.4W	
外形寸法(幅×奥行×高さ)	約509 x 約390 x 約138mm(突起部除く)		
質量	約10.5kg	約9.9kg	
付属品	リモコン、単4型乾電池(2本)、電源コード(1.8m)、RGBケーブル(1.8m)、HDMIケーブル(1.8m)、天吊り補助ワイヤー、CD-ROM(取扱説明書)、セットアップ説明書、保証書		

*1 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2015データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。

*2 明るさ優先モード時

*3 D-sub入力、明るさ優先モード、エコ+静音モード:切時。

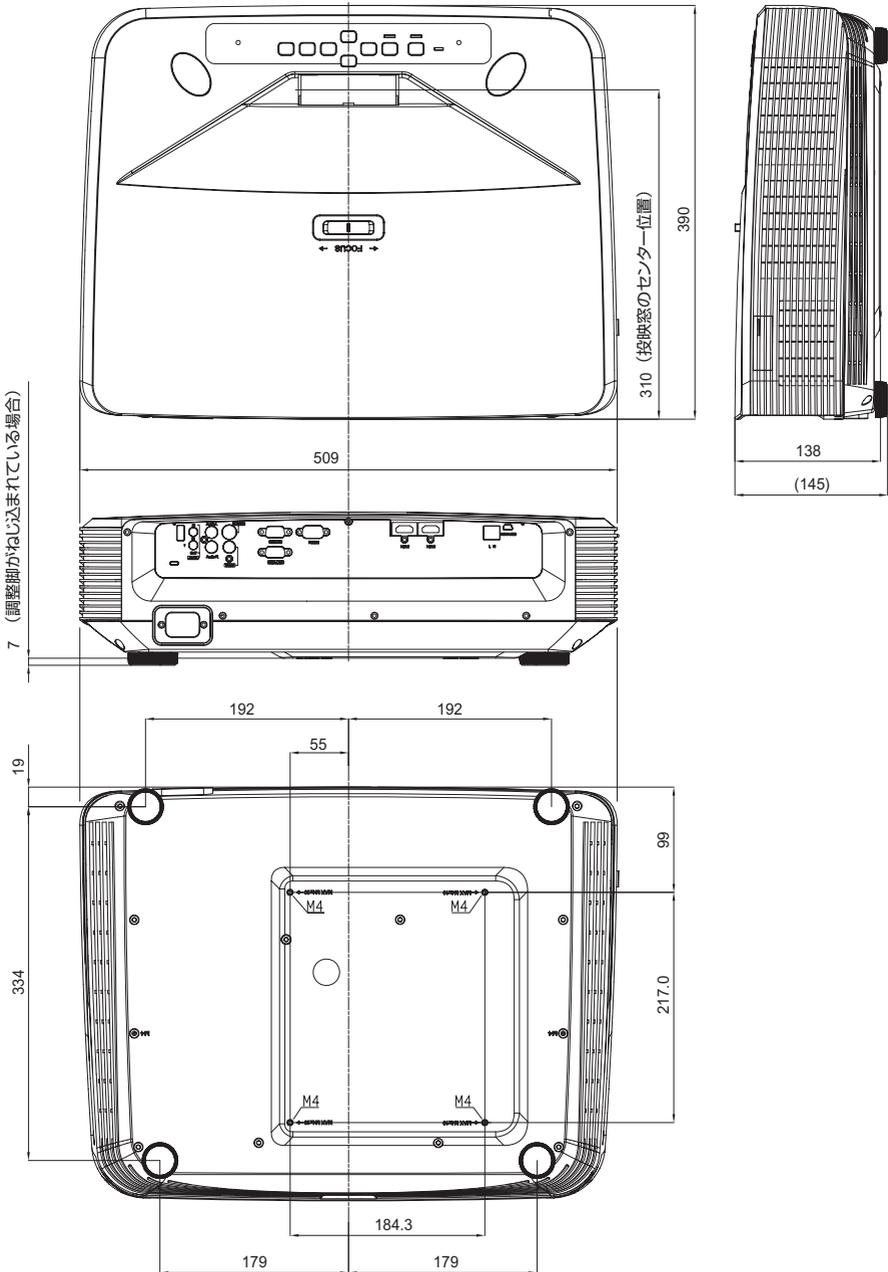
*4 別売品取付時の温度範囲は、別売品の仕様をご確認ください。別売品を付けると温度範囲が変わる場合があります。また、設置条件により温度範囲が変わる場合があります。

お願い

DLP®チップは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がいくらかある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

寸法図

単位:mm



索引

記号英数

3D	45
4点補正	29
AC 電源ソケット	25
AUDIO (音声) 1、2 端子	22
AUDIO OUT (音声出力) 端子	22
AUTO SYNC (自動同期調整) ボタン	33
AV MUTE (AV ミュート) ボタン	33
BrilliantColor™	43
B オフセット	42
B ゲイン	42
COMPUTER/COMPONENT 端子	21
DHCP クライアント	50
ENTER (決定) ボタン	38
FREEZE (静止画) ボタン	38
FUNCTION ボタン	33
G オフセット	42
G ゲイン	42
H&V 台形補正	30
HDMI 1、2 端子	20、21、22
INPUT (入力切替) ボタン	31
IP アドレス	51
KEYSTONE (台形補正) ボタン	28
LAN 端子	24
MAC アドレス	54
MAGNIFY (拡大/縮小) ボタン	34
MENU (メニュー) ボタン	38
MONITOR OUT 端子	22
ON (電源入) ボタン	26
PICTURE MODE (映像モード) ボタン	33
RESIZE (画面サイズ切替) ボタン	32
RGB ケーブル	20
RS-232C 端子	23
R オフセット	42
R ゲイン	42
S-VIDEO 端子	21
STANDBY (スタンバイ) ボタン	26
STANDBY/ON (スタンバイ/電源入) ボタン	26
TCP/IP	51
VIDEO 端子	21
VOL (音量) ボタン	31

ア行

明るさ	41
明るさ優先	41
アラームメッセージ	47
位置	41
色あい	41
色温度	42
色の濃さ	41
映像	41
映像モード	41
エコ+ 静音	49
オーバースキャン	42
音声機能	48
温度モニター表示	75

カ行

カーソルボタン	38
壁色補正	39
画面サイズ	32、39
乾電池	14
キーロック	52
吸気孔	11、74
クイッククーリング	50
クイック自動検索	45
クロック	40
クローズドキャプション	49
言語選択 (画面表示言語)	46
ケンジントンセキュリティスロット	12
光源使用时间	54
光源表示	75
高地対応モード	48
コントラスト	41

サ行

彩度	44
色相	44
自動同期調整	33
シャープネス	41
水平位相	40

タ行

待機状態モード	50
台形補正	28
台形補正 (4点補正)	39
台形補正 (H&V 台形補正)	39
調整脚	27
テストパターン	47
電源表示	75

ナ行

入力信号確認	54
入力信号タイプ	42、54
入力	31
ノイズ軽減	43

ハ行

排気孔	11、74
バックグラウンド	47
フォーカスリング	27
付属品	10
プレゼンテーション	41

マ行

無信号電源オフ	49
明度	44
メニュー位置	46
メニュー表示時間	46

ラ行

リモコン	13
------	----



使いかたのご相談など

弊社製品が接続されているシステムの使いかたなどは、ご購入の販売店・営業担当にお問い合わせください。

シャープ株式会社

ビジネスソリューション事業本部
ビジュアルソリューション事業部
国内営業部サポートセンター

 0120-571002

フリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は、
電話：03-5446-8153

受付時間 月曜～金曜：9:00～17:00（土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）



修理のご相談など

【修理ご相談窓口】（沖縄地区を除く）

シャープビジネスソリューション株式会社



0570-00-5008

（●全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。）
（●携帯電話からもご利用いただけます。）

■PHS・IP電話をご利用の方は…
06-6794-9676

■沖縄地区の方は…
沖縄シャープ電機株式会社 098-862-2231
（月曜～金曜：9:00～17:00）
（土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40（日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

●電話番号・受付時間などは変わることがあります。（2017.7）

シャープ株式会社

本 社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地
ビジネスソリューション事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地